京城日報

本紙定價 [illegible]
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五十錢(特等) [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 [illegible]

十二月二十九日夕刊(朝夕併せて八頁)

四十一回帝國議會

貴族院

(朝刊より續く)

貴族院は廿八日午前十一時廿分再開議長は休憩中勅語奉答捧呈の爲め參内せしも 陛下御風氣の爲め出御あらせられず宮内大臣を經て之を捧呈せしに別項(朝刊)の如き勅語を賜りたりとて總員起立嚴敬裡に之れを奉讀す次いで別項(朝刊)の感謝文を決議せり之に就て田中、加藤の陸海兩相登壇夫々貴族院の深厚なる同情を謝し尙此旨出征將卒に傳達す可き旨を述べ終つて議長本年の貴族院は本日(廿八)を以て終る明年一月廿日迄休會の事を諮り異議無く可決散會す(東京特電)

衆議院

(朝刊より續く)

衆議院は廿八日午前十一時四十分再開別項(朝刊)の如き勅語を賜りたりとて大岡議長奉讀す次いで陸海軍に對する感謝文を決議す茲に於て田中、加藤陸海兩相の謝辭あり後大岡議長は前例に依り本會議を火、木、土委員會議を月、水、金とすと述べ年末の際なれば明年一月廿日迄休會の旨を諮り異議無く可決零時十分散會す(東京特電)

▼常任委員長

衆議院に於ける常任委員長左の如し(東京特電)

▲豫算委員長齋藤珪次(政友)▲決算委員長武市彰一(憲政)▲懲罰委員長中西六三郎(政友)▲請願委員長古谷久綱(政友)

●國民黨選擧法改正案

國民黨は廿八日選擧法改正案を衆議院に提出せり改正條項左の如し(東京特電)

第八條中「二十五年」を「二十年」とす

第十條中「三十年」を「二十五年」とす

第十三條第一項の改正、此外別表改正

◇日本は行政を擔任

浦鹽イルクック間鐵道管理

浦鹽イルクック間の鐵道を聯合國にて管理するの件成立し米國は技術上、日本は行政上の事項を擔任す可しとの說あり(哈爾賓電)

◇米銅鋼管理廢止

倫敦來電=紐育電報よりの報道に依れば米國政府の銅鋼管理は一月一日を以て廢止せらるべし(東京特電)

◇關門海底鐵道敷設

十箇年繼續事業として愈著手

多年の懸案問題として世人の注目を惹き而も諸種の事情に依りて實現の運びに至らざりし關門聯絡海底鐵道は愈鐵道院の手にて明年度より向ふ十箇年間の繼續事業として敷設工事に着手することゝなれるが全工事に要する費用は一千八百萬圓乃至二千萬圓の見込にて工事に着手する迄には精密なる調査を遂ぐる要あるを以て明年度以降二箇年は之が調査期とし同院嘱託帝大教授田中豐博士等專ら其任に當ることゝなるべく是に要する豫算は今期議會に提出することに確定し工事は下關を距る一哩未滿の地點より一支線を分岐せしめ隧道に依り彥島を經て九州大里に達するものにて隧道の全延長三哩二分の一なりと(門司特電)

◇山公大機奉伺 山縣公は廿八日午前十一時三十分御機嫌奉伺の後退出せり(東京特電)

◇辭令 廿八日左の通り辭令ありたり(東京特電)

青島守備軍民政部事務官 秋山雅之介
兼任青島守備軍民政部鐵道部長(二等)

◇平井博士通過 支那交通部顧問工學博士平井晴二郎氏夫妻は廿八日夜京奉線にて來奉直ちに安奉線に移乘朝鮮經由東上の途に就けり(奉天特電)

◇木戶侯消息 支那滿鮮視察中なりし侯爵木戶孝一氏は過般來大連滯在中なりしが廿七日夜來奉直ちに長春に向へり(奉天特電)

◎過軍掃滅經過

露國統一の大旗幟を翻へしたる聯合與國は其の前提として過激派軍の掃滅に從事しつゝあり今や北露南露及小露烏拉爾の三方面より作戰中なるが北露方面よりする者はアルハンゲリスクに上陸以來英佛伊米塞希の聯軍約一萬其行動を取り居るも捗々しき活躍を爲さず

▲刮目すべきは 南露及小露方面よりする者と烏拉爾方面に於ける軍隊となり南露及び小露の狀況を見るにドン地方に於て露國將校及び兵卒約三萬デニキン將軍指揮の下に行動し小露政府の軍隊と共にハリコフ、キエフ方面より南進を期し又ルーマニヤ、ウクライ兩軍共同してキエフ南方に集中し居れりこの方面には佛軍主となり軍器及び軍需品の供給を爲しニコライ大公も近く參加の風あるがこの方面に於る過激派軍の勢力は約三軍團ある由又烏拉爾方面に於ては過激派軍が主力を集中して非常なる努力を爲しつゝあり北部正面に於ては稍

▲反過派軍優勢 なるも南方は頻りに反過激派軍を壓迫しつゝあり北方に於てはチェック軍のガイダ將軍總指揮官として力戰しヴオログダ鐵道に沿うて有利に作戰し近くペルムを占領せんとする形勢なるが南方に於ては反過派軍はウハアを撤退するの外なき危殆なる狀態にあり故に大體に於て現狀の儘にて推移せば過激派を突破する事困難なるが如し勿論オムスク政府のコ提督の方針として英國の援助の下に十萬人に對する軍需品及軍器の供給ある筈なれば是に由りて來春迄に新鋭なる軍隊を結成し過派軍を突破する事易々たる可しと豪語し居れるも實際に於ては該希望の實現困難なるが如し

▲兩軍の兵力を 今檢察するに反過派軍は八萬八千過軍は十五萬二千約五箇軍團を有し且其兵器は充分精鋭なるものありと謂へり是等の情勢より全露の歸結を觀察するに現況にては烏拉爾戰線の過軍突破は困難なるが如く最も現在優勢なる狀態に在るは南方よりする前進軍はドンコサツクの精鋭並に英佛の物質の援助あり且つ地勢の關係上モスコーに進軍する事容易なるが如く而してモスコー占領後の歸結として全露統一政策は當然研究せらる可き問題なるが果して斯の理想を實現し得可きや

◎出征軍の冬籠

防寒設備は充分

陸軍主計監堀塚銷太郎氏は一箇月間西伯利派遣軍給養情況の視察を了へ旅順に歸來此の程朝鮮通過東上せるが其談に曰く余は浦鹽よりチタ方面に亘り軍隊の

▲冬籠 情況を視察せるが同方面は汽車の不便なる事言語に絕し一等車に於ても鮨詰の滿員にて夜は室外の廊下に迄横臥して足の踏み場もなき有様なるが軍人以外は乘車手續容易ならず停車場は十時間も待合せたる旅客を以て充たされ居れり且汽車發着時間も一定せずして不便甚だしく軍需品の輸送も絕わざるを以て今後或期間は現在の混沌たる貨客輸送情況を脫すること能はざるべし冬籠りの準備は到る處完備し零下三四十度の寒氣にも何等不便を感ぜず其他健康情態の如きも滿洲に於けると毫も異なる處なし派遣軍の冬籠り準備は第七師團が

▲滿洲 に於て有せる經驗を基礎して完成せるものなるが余の視察中認知せるは只被服のみが改善の餘地ありて其他の給養情況は滿足に思はれたり被服は假令ば帽子の如き零下四五十度の寒氣に對しては不充分なるが如く今後實際の經驗に俟たざれば斷定を下し難きを以て一月二月迄の嚴寒期に於て充分研究の上改善するを要す外國兵は毛皮の帽子を被れるが日本兵も之を採用すれば不可なきも多數の兵士に對しては經費上の關係あるを以て俄に適當のものを決定し難し

◎政務總監出發

山縣政務總監は豫報の如く二十九日午前八時四十分南大門驛發列車にて夫人同伴靜養の爲め郷里萩に向け出發一月五六日頃歸城の由

◎大勢和平に向ふ

趨向既に實現の機運を促す

支那南北和平統一は北方主戰派の陝西、福建、湖南、湖北等に於ける增派兵の爲め一時頓挫せしが如き觀ありしも大勢は最早動かすべくもあらず即ち南方に於ける

▼和平反對派 は北方の反對派とは正反對の地位にあれども和平統一の爲めに自派の立場を失はんことを虞れ極力妥協を排し居る點は孰れも同樣にて此の兩派が呉越同舟的に迄初一念貫徹に努力する事あらんには折角好運に向はんとせる妥協運動も不成立に終ることあるべし、併し南北の穩健派は相一致して和平促進に努め居れり、而して殊に五國勸告の趣意『五國政府は妥協統一の實現を計らんとする南北双方の熱誠努力に及ぶ限り聲援を與へ以て支那國民が列國の現に希求せる世界改造の偉業に參與して將來の國威を發揚するに至らん事を望むに過ぎざる也』に基き南北乖離を衷心より嫌忌し和平解決は漸次其歩を進むると共に他方巴里の

▼講和會議 には南方よりも代表者(多分伍朝樞)を出すべく徐世昌、岑春煊兩者間には十分の諒解あり只管南北の爭鬪を防止せんとするに至れり、尤も段祺瑞の胸中を割つて見れば南方に一大打擊を與へたる後にあらざれば妥協す可らずと言ふにあらんも大勢の趨向は如何ともすべからざるを以て配下主戰派の輕擧を戒めつゝ形勢を觀望し積極的和平妨害の態度を持せざるは事實なり、又陝西、福建、湖南、湖北の增派兵問題は江蘇督軍李純の斡旋に由り多分圓滿に解決さるべし、形勢右の如くなるを以て和平會議の實現も遠からざるべきが其地點及び期日は勿論未定なるも北方總代表は南下せし筈なれば南方總代表唐紹儀に附屬すべき會議委員も近く決定するならんと云へり

▼會議地は南京 上海租界双方共に十分の理由あれど結局は上海(必ずしも租界にあらず)に決定するやも知れず、尙ほ和平解決久しく遲延する場合五國政府が再び勸告するやも知れずとは支那當報の傳ふる所にて事實南北の和平統一熱望派は再勸告を期待し居るならんも五國政府は其妥協勸告に示す如く外當初より內政不干涉は素より妥協の出來ざる場合にも實力を用ひざる方針を支持し居れば再勸告は容易に行はれざるべし

◎陸軍始觀兵式

一月八日午前十時より龍山練兵場に於て例年の如く陸軍始觀兵式を擧行すべく宇都宮衞戍司令官は觀兵式に關する命令を發し師團司令部に於て計畫を進めつゝあるが諸兵指揮官は第十九師團長高島友武中將之れに當り觀兵式參加部隊は龍山屯在各隊乃ち步兵二個聯隊野砲兵騎兵各一個中隊並に朝鮮步兵隊の部隊に屬する軍人(朝鮮將校を含む)高等文官は當日觀兵式に參列すべしと

◎都督府殖產獎勵

關東都督府が植民地發展の一助として殖産興業の獎勵に腐心し補助金下附の途を取りつゝあるは至極結構の事にして大連に於て本年度補助を出願し許可されたるものは滿洲皮革會社の一萬五千圓玉蜀黍製粉所の一萬圓大連皮革會社の六千圓大連坩堝會社の五萬圓銀行の一萬五千圓バリユーム會社の七萬六千二百圓等の外前年より繼承せるもの亦數種あり而して都督府の方針として今後國家的有利なる事業には州外の企業に對しても相當の補助をなすやにて近く滿蒙毛織會社の如きも補助を與ふる由滿洲開發の上喜ぶべきことゝいふべし

◎朝鮮産重石黑鉛の前途

樂觀を許さず

朝鮮産特種鑛物たる重石並に黑鉛の米國輸出の前途に就き某有力當業者は曰く重石並に黑鉛は共に今後多量の米國輸出を望むべからず殊に朝鮮黑鉛の米國に於ける需要は

▲前途悲觀 の外なき如し姑く現狀を見るも兩品共に米國の輸入禁止品となりたるを以て特許を受けざれば輸出は不可能の狀態にあれども休戰條約の調印後は米國の貿易政策大に緩和されその輸入の特許を得る事は之れを從來に比し多くの困難なく米國よりの註文だにあらば輸出は可能なるべきなれども然もその引合は全く來らず輸出向は殆んど無相場の狀態にあり之れ米國に於ては重石の手持品多からず茲當分は貯藏品の消化にて十分需要を便じ得らるべきと戰後特種鑛産品の反動的低落を見越し先安の思惑より買控へをなし居れるもの如し從つて朝鮮の重石は或る

▲時期を經過 せば多少輸出の途を見出し得べしと考へらるゝも價格に於ては低落を避け難く良鑛山にあらざればその經營は不可能なるべしと信ぜらる鱗狀黑鉛の米國輸出に就ては一種の樂觀者ありと雖も到底朝鮮産品は內地の需要に應ずる位が關の山なるべく內地にても或は錫蘭島品の壓迫を受けずやと案じ居れり從つて米國輸出の旺盛なりし昨年並に今年の如き盛況の再現は期し得られず何となれば英國の屬領たる錫蘭島の黑鉛は開戰後輸出禁止を斷行しあれど講和と共に之れを解除すべき事は疑ふの餘地なし或は既に解除し米國にその

▲生産品の仕向 けを開始したるやも圖り難し錫蘭島の黑鉛は朝鮮の黑鉛と比較にならざる程良質なり乃ち朝鮮にては良鑛脈にして土砂中に二三十パーセントを含有するに過ぎざる錫蘭島の黑鉛山は殆んど黑鉛を以て形成せらるるの觀あり少しく誇大に云へば鑛山より掘りとりたる儘之れをば輸出品となすも不可なき位含有量大なり朝鮮にて土砂と黑鉛をふるひ分けて更に製錬機械に附して漸く八十乃至九十パーセントの黑鉛を得ると同日の談にあらず旁米國の市場は錫蘭島産に占められ黑鉛市場は戰前の狀態に復歸するものと見るを可とせん唯內地に於ける近年の

▲製鋼事業 の發展は坩堝用黑鉛の需要を激增せしめ居れるに付假令錫蘭島産の入荷ありとも之れを戰前に比すれば朝鮮黑鉛の內地需要は增大するものと見て不可なからん然も往年の生產過剩による在荷各地に豐富に付其消化に終る迄黑鉛の需要は振はざるべし

日伊條約

明年六月迄存續

日伊通商航海條約は大正元年十二月の暫定取極めにより本年十二月三十一日迄効力を存續することゝせしが今般同條約の效力存續に關し兩國間に交渉を爲せしが別項公文の交換により更に明年六月三十日迄之を存續することゝなれり公文左の如し

▼伊國大使書翰

以書簡啓上致候陳者本使は今回接手せる訓令に從ひ伊太利王國政府の名に於て閣下に對し此の提議を通告するの光榮を有し候千九百十二年十一月二十五日附日伊通商航海條約は千九百十九年六月三十日に至る迄效力を存續す可く右期間到來以後は兩締約國一方より其の廢棄を聲明する迄の間暗默に更新せらるゝものと見做す但し廢棄の場合に於ては其の聲明後三月を經て條約は效力を失ふ

本使は貴國政府に於て本件有效期間の延長に同意せらるべきや否やにつき可成速に貴答に接し度く希望致し候右申進旁本使は茲に重ねて閣下に向つて敬意を表し候敬具

千九百十八年十二月十六日 クサニ

外務大臣子爵內田康哉閣下

▼內田外相復翰

以書簡啓上致候陳者本月十六日附貴翰了承本大臣は閣下に對し帝國政府に於ては左記伊太利王國政府の提議に同意を表する旨通告するの光榮を有し候千九百十二年十一月二十五日附伊日通商航海條約は千九百十九年六月三十日に至る迄効力を存續す可く右期間到來以後は兩締約國一方より其廢棄を聲明する迄の間暗默に更新せられたるものと見做す但し廢棄の場合に於ては其聲明後三月を經て條約は效力を失ふ

本大臣は貴國政府に於て本件有效期間の延長に同意せらる可きや否やにつき可成速に貴答に接し度く希望致し候右申進旁本大臣は茲に重ねて閣下に向つて敬意を表し候敬具

千九百十八年十二月 內田康哉

伊太利國特命全權大使侯爵クサニ閣下

▽暫定取極事情

外務當局說明

大正元年締結の日伊通商航海條約は伊國政府の廢棄通告に依り客年十一月末失効の筈なりしを同年十二月二十八日の暫定取極に依り不取敢本年十二月卅一日迄其効力を存續せしめたる次第なるに依り過般來再び同條約の効力存續に關し兩國政府間に交渉を重ぬる所あり

▲今般協議成立 し別紙の如き公文を外務大臣と在本邦伊國大使との間に交換し以て現行日伊條約の効力を其儘明年六月三十日迄存續すると共に同日以後に何時たりとも兩締約國の一方に於て三箇月の豫告を以て之れを廢棄し得可きことゝせり蓋し今次の暫定取極めに於て斯くの如く其有效期間及び廢棄豫告期間に比めたるは目下講和條約成立の日も近づき各國とも其關稅政策に一大變革を加へんとするの狀態に在り、成る可く自由行動の餘地を制限せざらん事を努めたるが爲に外ならず尙今次の暫定取極めに於ては昨年のものと異なり伊國が條約を以て獨墺兩國に認めたる協定關稅の利益享受方に關し何等言及する所なきも昨年の取極めに於て

▲右利益を享受 する場合は伊國に於て同一の利益を第三國に附與するを條件とせしが故に右に言及することは現に日伊條約に最惠國條款の保障ある以上何等實効上に差異を來す所なく從つて今回は右に言及せざる事とせり尤も伊國に於て獨墺兩國との開戰に依り其以後該兩國との條約に依る協定稅率は對外關係に於ては消滅せるものなりと雖も國內經濟上の必要に依り臨時國令を以て尙之を存續せしめ居る次第なるに付今後と雖も講和條約成立し同國に於ける一般的關稅政策決定せらるゝに至る迄は現狀維持せらるゝものと思考せらる(東京)

◎歲晚財界

大勢は好況

懸念は米價の前途

歲晚財界の大勢に付鮮銀當局は曰く各地共概して平穩金融は緩漫の狀態を以て越年し得る如く殆んど不穩事を聞かず近年稀なる

▲上景氣の歲晚 たりこれ蓋し各事業にも滲透せられし如く朝鮮の生產品價格の騰貴より來る地方農村の好況に坐するものと云ふべし唯出穀期に際し內地との間に於ける米穀の商約は高値の際にて相當金額を增し此儘越年する事は幾分不安の念を感ぜざるに非ざるも然も在鮮商人の米豆類買附は多く先高を見越せる思惑買にあらず大部分は內地の註文により買附の手を擴げしものにて投機的にあらざるため堅實なりと稱し得べし從つて前途米價の崩落を見る事あるも

▲朝鮮商人 の打擊を受くる事は僅少ならん又滯貨は相當にあれども各地の金融平調にして必ずしも憂ふべき狀態にあらず殊に滿洲にて野積貨物に對しても倉荷證券の發行を實行し商人に對し金融の便を得せしめつゝあると十一月以來運賃を改正して穀類の釜山集中を成るべく避け各港分散を策りつゝある如きは銀行家として喜ぶべき善後政策なりと觀じ居れり要するに政府の米調節策により米價の前途下落せずやの懸念は幾分朝鮮財界の不安なれども大勢は好況裡に大節季を經過すべし

◎市場經營繼續許可 松永京畿道長官は道告示五十九號を以て京城魚市場に對する市場經營並に營業繼續の件を許可したるが之れに據れば同市場の繼續營業期間は大正八年十二月三十一日迄とし其の間京城府に於て同樣の市場を經營せむが爲め三十日前に豫告を爲したるときは期間內と雖も其の經營を休止すべしといふにあり

◎面事務所移轉 松永京畿道長官は道告示第六十號を以て管內坡州郡靑石面事務所を舊位置靑石面東幕里より新位置靑石面多栗里三五〇五一四番地に變更せり

◎三井物産張宴 三井物産京城支店長高野省三氏は二十八日夜千代本に各新聞通信雜誌の主なる者約廿數名を招待張宴せしが高野氏の挨拶に對し大垣京通社長の謝辭あり餘興數番盛會裡に十時頃散會したり

人事消息

▲壹井永助氏(馬山府銀州出張所長) 二十九日朝入城山本へ

八面鋒

◇月日に關守なし、大正七年もこゝに終りを告げたり。一年の事蹟を回顧するに、千緒萬端、紛々錯々、容易に本末を發釋し難し。

◇多事多忙、しかも波瀾の極めて高かりし大正七年も遂に逝けり。來る大正八年や如何、多事多忙は覺悟の前なりと雖も、波瀾の餘りに荒きは、國家社會のために好ましきにあらずや。

◇憐むべき伯林は今や、[illegible]の都と化し、秩序の回復は近き將來に期し得ずと傳へらる。さすがに組織の能力に富める獨逸民族も革命の毒酒に中てられては、一向タワイなきものと察せらる。

◇同じ醉ッぱらいの露國は、聯合國の干涉に依り國內の秩序を回復したしと望む。ヅー體の大きいだけ世話の燒けること餘計なり。但し嫌はれもの、日本は、此の寒空に烏拉爾を越すに及ばずとあり、物怪の幸ひなり。

◇和蘭に遁世の前獨帝も病み、維納に蟄伏せる前墺帝も病めりと傳へらる。玉の緒よたえなばたえね長らへて樂しき春に逢ふよしもなし。末路蕭索、景情此の兩個のみならんや。

◇我が西伯利出征軍も半ば復員し地中海出動の艦隊も亦凱旋の途に上らんとす。忠勇なる國家の干城日ならずして故國の春に逢ふを得ん。知らず同胞、何を以て彼等を迎へ、其の勞動を慰せんとする。

◇八面鋒子今日を以て筆を收め、更に新年を期し、硯を洗つて相見んとす。こゝに讀者の愛顧を多謝し、芽出たく新年を迎へられんことを祈る。

京城救濟會收支決算報告

▲窮民救助部

收入之部

金二千七百五十圓 長谷川總督閣下外四名寄附金
金四千百三十圓 鮮人某寄附白米八十石、粟七十石換算金
金二百六十六圓 金東星寄附粟十四石換算金
金百七圓九十三錢 殘米處分代金
金六十四圓八十九錢 空叺及袋賣却代金
計金七千三百十四圓八十二錢

支出之部

金三千六百六圓六十六錢 救助白米九十八石八斗六升、寄附米換算金及不足米買入代金
金千八百七十八圓三十四錢 救助粟九十八石八斗六升寄附、粟換算金及不足粟買入代金
金三十九圓五十二錢 叺手及人夫賃
金五十二圓九十八錢 運賃其他雜費
計金五千五百七十七圓五十錢
差引殘金千七百三十七圓三十二錢 廉賣部へ組入

▲東殖提供米委託廉賣部

收入之部

金五萬七百三圓七十六錢 白米二千石提供買上代金

支出之部

金五萬七百三圓七十六錢 提供米代金東拓へ支拂

差引零

▲廉賣部

收入之部

金千七百三十七圓三十二錢 窮民救助部ヨリ受入
金九萬六千五百八十三圓六十八錢 寄附金收入總額
金千四十圓 白米一石十圓引百石寄附東四十向分寄附換算金
金十萬六千七百七十二圓三十八錢 直營及米商組合委託各廉賣所賣上代金
金一萬七千三圓四十七錢 外國米共同購入申込買上代金
金一萬四千二百八十六圓一錢 外國米指定商人へ引渡代金
金八百三十三圓六十四錢 委託廉賣中叺耗辨償金及殘米處分代金
金千六百四圓六十九錢 空叺及袋其他不用品賣却代金
金百六十七圓四十四錢 雜收入
計金二十四萬二十八圓六十四錢

支出之部

金五萬八千四百十五圓三十八錢 外國米四千二百二十六袋購入代金
金十一萬九千五百七十圓五十錢 白米三千百二十六石五斗購入代金及一石十圓引百石代金
金八千六百七十一圓六十錢 粟六百五十二袋購入代金
金二千二百七十三圓二十一錢 米商組合委託廉賣手數料
金二萬八千九百五十六圓二十錢 指定商外國米販賣手數料及小賣商米穀割引販賣券引換金
金六百四圓五十三錢 廉賣所設備費及廉賣所ニ充テタル各學校修繕費
金一百七十五圓六十五錢 米入叺、バケツ、桝、印章其ノ他備品及雜品購入代
金二千四百十九圓十一錢 廉賣券其ノ他筆紙墨文具消耗品購入代
金千七十五圓二十七錢 通信運搬及入庫諸費
金九百六圓六錢 事務員給料及廉賣所掛員手當
金五十圓 銀行員手當
金七百八十四圓十五錢 廉賣所量手及人夫賃
金五百五十七圓六十一錢 各廉賣所掛員及量手辨當代
金千五百圓 各町總代經費充當金
金百六十三圓五十二錢 諸雜費
計金二十二萬六千四百二十二圓七十九錢
差引殘金一萬三千六百五圓八十五錢 銀行預金トシテ保管

右之通候也

大正七年十二月 日

京城救濟會長 金谷充

時間表 大正七年七月一日改正現行 (南大門) [illegible]

◎太平洋上一浬を距て 西伯利丸と天洋丸

＝御名代宮の御召船と牧野大使の乘船＝

◇信號並に敬禮を交換す

桑港二十五日發延着＝本日午後桑港に於て日本講和使節一行の搭乘せる天洋丸より無線電信を接受せり右に依れば天洋丸は二十四日太平洋に於て恰も西航中なる西伯利丸と邂逅したり同船には畏くも英國を御訪問御歸朝の途に在らせらるゝ東伏見宮殿下御搭乘在らせらるゝを以て互に一浬を距てたる海上に於て信號並に敬禮を交換せり又牧野男はホノルヽに於て布哇官民の鄭重なる待遇に就き米國政府の用意周到なる歡迎準備に對して深甚なる感謝の意を表し且つ今後大袈裟なる歡迎の催し無からんことを望む旨通告したり(東京特電)

◎郵便飛行 ◇東京大阪間に施行する

＝帝國飛行協會の計畫＝

基準五時間で賞金三千五百圓

帝國飛行協會にては民間飛行界の奬勵の爲めに各種の新事業開始に就て過般審査委員會を開きて審議を重ねたる結果更に二十六日夜日本橋倶樂部に於て

▽理事會 を開催して諮詢に附したり詳細に亘つては近く公表する筈なるが其新事業は來年一月初旬より六月下旬までの期間に東京大阪間に郵便飛行を施行すること十月より十二月の間に於て

▽遠距離 の飛行競技會を開催すること民間飛行家に對して飛行士免状下附のことマグネット發動機の製作競技を爲すこと等にして郵便飛行競技は甲乙に分ち甲は東京より乙は大阪より互に郵便物を搭載して途中無着陸にて飛行し

▽目的地 に一泊の上更に郵便物を積て歸來することに在り之に對する懸賞金は片道の飛行に五時間を基準とし褒賞金を加へ三千五百圓とし右基準の時間より一時間を減ずる毎に五百圓を増し一時間を増す毎に二百五十圓を減ずべしと

◎東洋一の無線電信所

＝北京に出來る

◇歐米へ直接通信

逓信技師佐伯美津留氏は北京に於ける東洋第一と稱せらるゝ無線電信設置所選定其他の要務を帶び

◇出張中の 處廿六日朝關釜連絡船にて歸關、午前九時五十分發列車にて東上せるが、氏の談に曰く『無線電信局は三井の請負事業で北京を距る東西三四里の二ヶ所に設け、發信、受信兩局に分けることにしたが、工事は明年度から着手して一ヶ年で完成の見込である

◇通信距離 五千哩で亞米利加及び歐羅巴と通信を爲し得る工事には數百萬圓を要する見込みである。我國では常に議會で豫算を削減せられるので、大仕懸けのものは到底駄目であるが、目下工事中の仙臺附近の原沼無線電信局は、桑港及びボルドウと直接通信し得る、工事費は七十八萬圓であるが完成期は未定である(下關)

◎聖上御風氣 極めて御輕微

聖上陛下御風氣に付宮內省近藤庶務課長は曰く『聖上の御風氣は極めて御輕微で咽喉部に少しく御故障があり少しく御熱氣も在はすので侍醫頭から開院式行幸の御見合せを言上した次第である從つて近時流行の惡性感冒の如き者ではないから其點は一般に承知する樣に』とのことなり(東京)

◎二松學舍へ 恩賜金

改築費の御幇助

畏き邊にては文學博士三島中洲翁の創設に係る麴町區一番町二松學舍今般改築の趣聞し召され思召を以て御補助金五千圓御下賜の御沙汰ありたり(東京)

◎文展に美術工藝品を陳列したい

◇文相へ陳情

美術家仲間の懇案であつた文展に美術工藝品陳列の一部を加へたいこの希望は岡田前文相の賛意を得たのみで內閣更迭の爲其儘となつてゐたが愈岡田三郎助、藤田信夫の兩氏代表者として文部省に中橋文相を訪問し希望陳述之が實現に努めるさうである福田氏は曰く『唯一口に工藝品といふと餘りに範圍が廣汎に亘り實行が困難だと云ふ點もあるが主として金工木工陶器刺繍位の範圍に止めたいと思つてゐる』正木美術學校長も夙に贊成してゐると(東京)

◎恤兵金 十四萬

慰問袋五十萬

陸軍に於て本年八月廿一日恤兵部事務開始以來十二月廿五日迄に寄附受附の現金は十四萬二千九百九十六圓慰問袋五十萬六千百九十五個其他雜品若干なりと(東京特電)

◎チ兵を赤十字 本社へ收容

一月中旬東京着

浦鹽日本赤十字社救護班病院の現在患者は百九十三名でチェック人百八十四名露國人二名日本人七名であるが內チェック兵二十名は療養の關係上本社病院へ收容することゝなり明年一月十八日宇品に上陸し十五日頃東京著の豫定である又病院列車は十一月三十日ザバイ…ターヤに著し豫定の如く進行しアレキセーフスク驛で水槽に故障を生じて修理を加へ十月十日收容患者全部を浦鹽兵站病院に引渡したが總數七十一名でブラゴエ、ハバロスク等の我陸軍部隊の患者である尙ほ同病院では巡回救療又は救護所を設置して露國民を救療することゝなり菊池總領事と熟議の結果近く家屋を選定して治療開始の筈である(浦鹽)

◎北太平洋の時化

＝本邦汽船亦被害多し＝

◇一日として靜穩なる航海をなす能はず

十一月上旬北太平洋上は颶風吹き續き海上荒れシャートル、タコマ、ビクトリヤ方面に航行する各汽船は何れも航海甚だしく困難を極め十一月二十四日シャートルを出帆せる大正汽船會社北海丸は航程一箇月を費し同日タコマを出帆の大阪商船ボルネオ丸も航海の途中強風に襲はれ何れも相當損害を蒙り又三十一日シャートルを出帆せる日本郵船長門丸も難航海を續け出帆後廿六日目にて入港するを得たるが其他日本郵船香取丸及び大阪商船アラビヤ丸等も連日の暴風に翻弄され一日として靜穩なる航海をなす能はず就中貨物船の如きは海水船內に浸入して積荷の被害夥しからずと(東京電報)

◎大半は辭表を提出 したとか云つてゐる、一方……

◎府當局は全然否認する

何れ時機を見て圓滿に行ふ方針か

釜山小學教員辭職問題後報

既報釜山小學校教員連袂辭職問題は今尙ほ具體的解決を見るに至らず當局者は此事件に關する總てを秘密に附し且つ事實を否認せんと努めて居る(三面所載參照)若松府尹の如きも世間の取沙汰が八釜しいので甚だ迷惑する、成る程年末賞與は少かつた、夫故多くの教員の中には愚痴を溢す者もあつたかも知れぬ、けれども斯る不平の爲めに

▲連袂辭職 をやつて當局を困らせようと云ふが如き無暴な事をする馬鹿者は一人も居ないと信ずる、假令あつたとすれば其辭表は直ちに受理する迄だと聲明して居る。けれども如何に當局が事實を揉消しようとしても最早誰も其否認を眞に受ける者は無い殊に生徒の父兄中には官僚式だと批難して居る者もある。府尹の

▲責任の 點なりを考慮して飽く迄事實を暗に葬り去り又其筋族小學校長對他教員の關係に就ても今回の教員聯絡に刺戟せられて當局が慌て處置を取つたと云はれては面白くないから穩便に處し何れ時機を見て圓滿に行ふと云ふ方針らしい。尙ほ聞く所に依ると府內各小學校共全教員の大半は辭表を提出したとか云つて居る、又府當局として今日迄

▲某校長 其他教員の關係に就いて全然知らなかつたのでもないさうで固より二三自暴自棄的な教員の行爲は絕對に惡いとしても當局者にも幾分此問題に關して責任はあると某は語つた(釜山特電)

◈貨物の山

＝南大門驛の凄まじい滯貨＝

歲末になると俄に出荷が激増する南大門驛では昨今十七噸車三十輛を毎日運轉して輸送に努めて居るが却々捌き切れず廿一日以後は日に〳〵千二百噸宛の貨物が停滯して行く相な其上到着貨物が毎日何うしても七百噸を下らない彼是相俟つて驛構內は今や北漢山も跣足で逃げ出す程の滯貨素晴らしいこと云ふよりも寧ろ凄じい位である驛では目下有らゆる手段を盡し必死となつて輸送に努めて居るが到着貨物は雜貨のやうな嵩張る物が多數を占めて居る爲噸數の上からは割合に少いのだと云ふ

新年の身仕舞

明るい色彩

＝長襦袢は色鮮かな緋無地がよい＝

上品な好みの中に……

◎流行は何處にもない……

◎自分に調和した色彩を作れ

新年から新春へかけての衣裳なり化粧なりは一體に樣にせねばならぬと思ひます、殊に外出の場合は自然と調和する樣に感じの大きいものを選ぶが良いのです而し

△日本婦人 の一般の傾向として女學校時代を經過すると其後は澁い好みになつて派手な服裝をされる方は下品だなどといはれる方も御座います然いふ意味で派手にする必要は無いので澁い上品な好みの中に明るい色彩を表せばよいのです、裾模樣であれば着物の地は地味にして裾模樣は派手にすればよいのですし、又小紋なれば變り襟でよいのですから半襟は無地の

△色物を用 ひ帶は思ひ切つて模樣の大きい色氣のあれたものを結ぶと引立つて見ゑます、細かい縞物でも大模樣の刺繍などを施すと大變美しい澁いものになります、著物も帶も又羽織も黑ずんだ色である場合には半襟とか帶揚とか又は帶止めとかを竪に横に切る線に派出な色氣を混じへたならば一層引立つて見ゑる樣になりますそれからお若い婦人は元より相當の年配の婦人でも長襦袢は

△緋無地が 一番相應はしいと思ひます、地味に地味につくられた調度の奧に紅一點見ゐるのは女らしい柔しさが籠つてゐることと思ひます、お年寄でも紫とか水色とか裏葉とかいつた無地物は落著くと無地の中に色があつて雜然とした模樣があるよりも無地が引映えて見ゐるものです、衣裳と化粧は相伴ふものです、衣服許り調和よく美しくとも顏の化粧が投げ遣りでは美しい衣裳も美しくは見ゑません

▽春の化粧は 衣裳に調和する樣に華やかに造るがよいので白粉をつける許りが化粧ではありません、唇の色にも手の化粧にも注意せねばならぬので白い顏に濃白い唇は齒が黄ぬつと出る手の汚いのなどは見る色く見ゑますし又美しい袖口から人の興が覺めるものです顏に化粧をし衣裳を美しく著更へる時は手にも淡化粧は是非施さなくてはなりませんデパートメントへ買物に來られた

△貴婦人の 口から洩れる聲を聞くと『何でもよいから今流行のもの』とか『一番ハイカラの物は何處に飾つてありますか』とか仰しやいますが是れでは何時迄經つても自己に適應した衣服を著ける事は出來ません、彼の西洋婦人を見ると青あり赤あり黄色ありと云ふ風でボンネットも正しく被つたの前へかしげたの又は左右など傾むけたの千差萬別で自分を

△本位にし て似つかはしい樣に裝つて居りますこれがよいのですし、又流行といふものは何處にも無いので其の人々に誠に似合つた裝ひをしたのがよいので各自が流行を生み出すやうにすればよいのです(某夫人談)

◎大阪造幣局の溝泥が……

＝七百圓也＝

職工の顏や手に附いた金銀粉

◇灰が二千圓

大阪造幣局では每年暮になると大掃除をやつて灰や構內下水の溝泥などを賣却してゐるがそれが驚くべき値になる、溝泥だけは既に二三日前に賣つたが三千圓ばかりの

▽泥が七百圓 になつたから、まるで嘘のやうな話である例も係官は『千圓にはなる筈だが踏み倒されたな』と零してゐた、之れは同局には鑄造部と精製部との者が每日顏や手足を洗ふ所がしてゐる金粉や銀粉が水に混じて溝の中に交るので此の泥を吹き分けると金銀銅などの地金が出るからださうである、それから灰と云ふのは三百五十名の職工が本年の四月一日から着用してゐた作業服や三萬足の草履及び作業場內の

▽塵埃を燒却 したもので之れが今年は石油罐に三十杯ほどある、此灰の中からも矢張り金銀銅等の地金が出るので非常な高價に賣れる、いつもは凡そ五百匁程の金屑が出るが今年は金貨よりも銀貨銅貨の方を澤山に鑄造したので今年は三百五十匁位しか出まいとの觀測である、そして之れだけでも時價にして二千圓ばかりになるのだと云ふから馬鹿には出來ない(大阪)

◎手提鞄爆發す

小倉驛の椿事

二十五日午後九時五十分鐵道小倉驛に一時預の荷物整理中一個の手提鞄突然爆發し驛夫村上某ならもの左手及び左眼下に治療一週間餘を要すべき負傷をなしたり右所有者何某は玩具の爆竹なりと主張し居れるも或は窃に火藥を入れありしにはあらざるか目下原因に就き取調中なり(門司)

◎愛婦の慰問

愛國婦人會朝鮮本部にては年末に際し朝鮮よりの出征したる將卒三百名及び家族三百名に對し此程山縣本部長の名を以て慰問状を發し京城在住の家族三十六名に對し慰問状に風呂敷を添へて贈呈したりと

◎餅搗難

餅搗人夫が無い

◇賃餅屋の鼻息が荒い

年末押し詰つた此頃になると彼處でも此處でも景氣のいゝお正月の餅をつく勇ましい杵の音を聞くが本年は何故かそれが少い此好景氣に餅つきを見合せる家もあるまいと調べて見ると今年は一般に傭工不足なので見合せる處ではない去年搗かなかつた家でも

◈今年は搗く と云ふ餅搗き界の好景氣然るに今年は結氷期が遲れたのと好景氣で勞働者の大當り從つて少々の儲け位はフンと鼻で扱ふと云ふ始末之れが餅搗屋にも影響して餅搗人夫の大拂底こんな事とは知らない各家ではもうても待つても來ない其處で慌て餅搗屋へ走つて賴むと餅搗きには行けないお米を持つて來れば搗きましようと其

◈鼻息の荒い 事斯の如し從つて搗賃も昨年よりはズツと高く今年は八九十錢から一圓だとの事である

◎相撲が……全部歸つた

大潮大元氣

栃木山、大錦組及び鳳、千葉ケ崎一行は淡路國志築の興行を名殘として廿六日午前八時歸京した是で全部の力士が歸京したので愈角力季節に入つて來た栃木山曰く『私の一行は七月五日信州上田の興行を

▲振出し に越後路から長野に歸つて松本、飯田を打ち名古屋で鳳一行と合併して京都、大阪、神戶、熊本、唐津、長崎、鹿兒島、都城……博多等を打ち廻り讃州高松、淡路を興行して歸京したのです西の海が鹿兒島で引退興行をすると云ふので大變な相撲大會を催す事になつた中學生が鹿兒島縣知事に願つたが例の流行感冒の爲めお流れとなりましたこんな工合で宮崎都城は餘り面白くなかつたが

▲博多は 土地ッ兒の福柳が勸進元で殊に鳳、大潮、千葉ケ崎の合併興行であつたから木戸所に至る迄好景氣でした大潮の元氣は素晴らしいもので恐らく東西を通じて彼に對峙する者はありますまい若手では常ノ花、源氏山、三杉磯や藤ノ下では若葉山、能代潟などは凄い元氣です鳳も今は病氣も全快して漸く貫禄も備つて來ました博多の興行で六日目に大錦が大潮に敗れ私は三杉磯に敗られたので七日目は大潮と私の取組があるので滿員客止めでした(東京)

◎明春より改正

讀者文藝欄

近時本紙の讀者文藝欄が甚だ振はないのは募集期間の短かい爲めに勢ひ濫作の弊に陷る爲であらうと思ひましたから茲に從來の規程を改めて期間を永くする代りに賞品を倍額にして尙ほ內地其他の土地からも應募し得る樣にしたらば必ず優秀なる歌句乃至一口噺の類が集められ樣と信じて茲に來るべき平和の新春を期して讀者文藝の募集規程を左の如く變更した次第であります(係)

(種類) (〆切)
▼小品文 『冬』十行以內 一月一日
▲一句 『福壽草』 五日
▲なぞ 朝鮮とかけて 十五日
▲一口噺 時事に關すること 二十日
▲物は付 『面白いものは』 廿五日

賞 一等(一人)一圓の郵便小爲替 秀逸(二名)五十錢同上

◎今日の寒さ

二十九日は非常なる寒氣を感じたるが京城測候所について訊くに此日の最低溫度は氷點下十二度八にして二十八日の最低溫度氷點下八度に比すれば四度八許り低き勘定なり去れど尙今日迄の最低溫度たる去九日の十三度五に及ばず例年に比すれば無論暖かき方なりと

灯し頃

▲大田驛の赤帽に米國獸醫學士黒住正男と云ふ男が居る▲斯樣な肩書を持ち乍ら赤帽になることはチト酔興過ぎて居るやうだが本人は何かの抱負があると見ゑて來歷などは一切口外せずして赤帽に成りすまして居た▲ところが過般西伯利に出征途中の軍馬が恰も大田驛で病斃したので先生早速治療を加へ無事戰地に送り屆けた▲茲に於て米國獸醫學士の肩書が初めて洗ひ出されたわけだが先生外出の時には袴を着し宴會の席上では堂々たる演說を初めることなどもある▲そこでウッカリ『オイ赤帽』など、横柄な態度を取らうものなら『フン』と云つた調子で振り向きもしないさうだ。

◇清洲川は強い

……つたがやはり清洲川の元氣には驚……のは氣の毒、又此の日朝潮部屋で……なかつた、例の大鳴門も今年は元氣といふ評判だつたが此の日……は朝潮や前記の清洲川が運動に來て此の部屋の有望力士朝見藤を引き出し……稽古相撲つたが朝見藤は……つかつたが矢張り朝には一番……

◇俺も一番 取らうと挨拶……さすがね當……ないから、相撲が樂に取れます、まアこれから私も少し精を出しますと言つた老將軍たる此の二……

天氣 晴

＝局面急轉の兆＝

漸騰無慮六百丁而も押目らしき押目を作らず實に是れ期米界空前の異例に屬す＝暴＝騰の半面に反落あるは物價の常軌たり、況や四十圓に近き新米時の米價に於てをや機は將に熟して刻々吾人の期待に接近しつゝ現に其一端を露せり＝愛に第十二回を組織し新春劈頭の成果を收めんとす、同士須く起て此壯擧を賛せよ

申込期間 大正八年一月十日迄 加入金一口參拾圓(債券代用不苦)

日本信託證券部

第十二回 期米賣同氣會

▲會則內容說明書贈呈▼

大阪市北區堂島濱一丁目二二 電長北九七一 振大四五五

會葬御禮

島田房太郎

親戚一同

友人一同

醇良無双清酒

衛生無害品質無双

發賣元

京城府黄金町二丁目 首藤京城支店 電話長一七一一番

釜山幸町 首藤釜山支店 電話長三四四番

開平コークス

特等品 硫黄……〇・八パーセント 灰分……一二・〇パーセント

一等品 硫黄……一・二五パーセント 灰分……一七・〇〇パーセント

開平耐火煉瓦

耐熱度 ゼーゲルコーン 三五度 攝氏 一七〇〇度

開灤鑛務總局總代理店 大連 西川光太郎商店

鮮代理店 榮洋行

京城永樂町二丁目 電話長七四一四番

謹啓益々御清適奉賀候陳者弊所多年骨粉肥料及膠其他ノ製造販賣罷在候處今般都合ニ依リ從來ノ工場並ニ其業務一切ヲ京城工業株式會社ニ讓リ渡シ候ニ付從前ニ倍シ御愛顧ヲ賜ラン事ヲ伏シテ奉希上候

大正七年十二月

京城東大門外 朝鮮肥料製造所

謹啓嚴寒之候益々御清祥奉賀候陳バ弊社儀從來硫酸アンモニア肥料及完全肥料各種製造販賣致シ居候處朝鮮肥料製造所ノ營業ヲ讓リ受ケ骨粉骨炭膠等ノ製造工場トシテ完全ナル設備ノ下ニ益々品質ノ改善ヲ計リ朝鮮農業界ノ發達ニ貢献致度念願ニ有之候何卒一層ノ御愛顧御引立ヲ賜リ度伏テ奉願上候

大正七年十二月

京城光熙門外 京城工業株式會社 電話長二三五六番 振替京城五四二四番 電信略號(ケ)又ハ(コ)

工場 京城光熙門外

分工場 京城東大門外 電話一六三五番

營業科目 硫酸アンモニア肥料 完全肥料各種 蒸製骨粉 膠及骨炭 其他諸肥料

……に至れば……の高大の軍……龍川こいふ……を向ふに廻して……一相撲にせず……はこゝ俺にや敵……へば八田和賀こし……こ十數番挑み掛つたが……の瞬、大の里も搦だこ……

……した譯こ聞くこ前日鯛ヶ濱こ申合つた際胸を痛め大きな膏藥をあの故障のある胸にベタ〳〵貼つて練送りをしてはへ痛いこ言つてゐた、一番も勝てずニコ〳〵顏で濟澄が歸つて行くこ今度は鬼高山が例の體物を鍛はず土俵に現はれ若い者に輕く稽古をつけた後又も朝見……高を貫かすこゝが出來なかつた……大で勝てた朝翁が土俵に立つ此の腰披露を濟ました西の海が……來て『オイ大將今年は大……

人の對話はなかく〳〵に意味が深い

◎連絡船上陸客

(東京一郵書)二十……午前入港……外人四名……中川政次郎、……鈴木……

◎我國に於ける新聞紙の歷史

木版摺りの新聞

總督府囑託　渡邊彰氏談

我が國中古の歌人紀貫之古今集の序に言へることあり曰く『雲を掩ふの樹も寸苗の煙より生じ、天に浮かぶの波も一滴の露より起る』こ新聞紙事業を興して社會の舞臺に活躍する狀態を仔細に觀察し來れば恰も之に彷彿たるものあるが如し、卸說我が國に新聞紙のあるは文久年間にバタビヤ新聞、六合叢談、中外新聞の二三種あるに創始し元治年間に至り岸田吟香アメリカ彥造、本間潛造等の諸氏相謀りて橫濱に於て新聞紙を發行し半紙十枚程の木版摺りを一綴りこなし毎月二三回づゝ發刊せり次て慶應三年に至り萬國新聞、藻鹽草、中外新聞、江湖新聞等大小十數種の新聞紙世に出でたり而して歲月の經過には關守りなく越へて翌年は維新の大號令下りて玆に明治の御代を迎へ奉り世務大小となく多端を極め海外の交通も亦大ひに盛んに開け知新の務益々必要こなりたれば木版摺を以て月に二三回發行する新聞紙にては到底世人を滿足せしむること能はず明治四年四月に至り橫濱每日新聞の發刊を見るに至れり是我國に於ける最初の日刊新聞なりこす

▲次第に發達し來る

而して明治五年二月に至り始めて東京に東京日々新聞の刊行あり翌三月には郵便報知新聞の刊行あり同六年三月には朝野新聞出で同年十一月には讀賣新聞出で同年四月には東京繪入新聞出で同九年には中外商業新報出で專ら商業界の首先報導機こなり同十五年三月に至りて時事新報出でたり右は僅に東京橫濱の兩都市に於ける新聞紙事業の年々發展せる一斑を敍述したるに過ぎざれども推して京都大阪神戶長崎新潟等の要地に於ける新聞事業の世に歡迎せらるゝ狀勢を知るに難しこせざるべし

▲新聞と政府の態度

飜つて新聞紙に對する政府の態度如何を觀察するに明治元年六月九日官許を經ざる新聞紙の刊行販賣を禁ずる布令出で翌二年二月八日に至り新聞紙出版の取締を大學校(文部省の前身)の司掌こなし同六年十月十九日に至り新聞紙發行條目を定められたり是れ實に我國に於ける新聞紙法の法典的成法ある原初なりこす而して時運の趨勢は人智を促進して事々物々粗より密に進むの潮流を社會に漲らしめ愚夫愚婦も亦時勢に伴ふの進步を將來せしを以て粗漫なる法制を以てしては到底新聞紙の記事に由來して新に發生する社會の新事實新現象に對し適當なる斷制を爲す能はざるのみならず時に或は新聞紙上の言論其ものが社會人心に變動を及ぼす動機こなるより明治八年六月に至り新聞紙條例を制定せられたり然れども新聞紙の社會上に於ける地位は失火の時に警鐘のあるが如く常に社會の振鐸を以て自ら其任こするが故に從ふこ常局者の顏色威眼に恐れて言はむこ欲する所を自制すべきにあらざれば言論筆鋒は益々激烈の度を加へて發行停止の處分を受くる每に却つて其の新聞紙は購讀者を增加する新傾向を見はすに至れり玆に於てか明治十六年四月に至り更に新聞紙條例に大改正を加へて監觀を嚴にし明治二十年十二月に至り再び大改正を加へられ以て憲法發布の時に及べり

▲帝國議會こ新聞

明治二十三年帝國議會開けてより新聞紙條例改正の問題は年々議場に現はれたりこ雖も貴衆兩院の間に於ては勿論政府こ衆議院の意見常に調和せずして數年を經過せり此の時に際し京城日報は新に朝鮮の京城に生れ出で明治三十九年八月十日を以て第三種郵便物たる認可を得躍如こして起ち以て社會の指導者たり人智の啓發者たる重任を負ふこゝなれり然れども當時新聞紙に關して別段法規のあるにあらず恰も內地に於ては文久年間に新聞紙を發行せる時こ殆んご同一の狀態にありたり而して朝鮮に於る新聞紙の刊行は特り京城日報のみに止まらざれば新聞紙全體の取締を平等一に規制せむが爲め統監府は內地に於る法規こ關係なく特立の法規を設け明治四十一年五月一日より實施することゝせられたり現に新聞紙規則即ち是なり而して內地に於ける新聞紙條例は立法行政機關の議論調熟して明治四十三年五月に至り法律第四十一號を以て新聞紙法を定め以て明治二十三年以來帝國議會開會每に議場を煩はしたる新聞紙問題は殆ご一掃的に解決せられ今や紙田銀關の要具たる舌耕筆耕者が其の言論を表露するに不便を感ずるこなきに至れり是新聞紙に關する制度の概要なりこす

◎近時勃興せる安東縣の工業(三)

新義州稅關支署調査

◆大倉鑛業安東製鍊所　は大正七年七月の創立にして資本金は三十萬圓、主任は大谷新平氏、含金銅粘鑛の製鍊事業にして一箇月の生產約五萬圓、原動力蒸氣五十馬力、送風機五十馬力、使用人員約七十名

◆東洋燐寸株式會社安東工場　は大正七年七月の創立にして資本金は本社四百萬圓、工場の資本五萬圓なり一箇年の製軸豫想は一萬俵動力は蒸汽三十馬力、製軸機三臺目下工事中にかゝり近く操業を開始すべし

◆大牛絲廠　大正元年十月の創立にして經營者は中牛源助氏、資本金三萬圓、柞蠶絲の製品及び絹紬の製造にして柞蠶絲一萬五千斤、同屑絲一萬二千五百斤、絹紬二千五百反を紡織す、使用人は日鮮支人合計約百五十名

◆興東公司製絲工場　大正六年十二月の創立にて經營者は田口百三氏、資本金は五萬圓、柞蠶製絲を目的こし一ケ年の生產高及び價格は公表を憚るを以て知るに由なし數は大小三百臺にして猶增設の計畫中なり

◆安藤洋行絹毛紡績工場　は目下工事を終りたるも未だ操業を開始せず、資本金は百萬圓、販路は米國南洋及枠日本內地に求むる豫定機械類無慮價借四十八萬八千圓、現在迄の投資額は四十萬四千圓なり

◆安東窯業株式會社煉瓦工場　は大正元年十二月の創設にかゝり代表者は河合芳太郎氏、資本金五萬圓不遠增資の計畫に屬す、一ケ年製造力は煉瓦八百萬個瓦四十萬個なり使用人員約二百名製品は凡て安東地方に販賣せらる

◆安東煉瓦株式會社煉瓦工場　は大正七年四月の創立にかゝり資本金五萬圓、社長は荒川六平氏製品は日本式、支那式の煉瓦支那瓦を製造し一ケ年の製造高は煉瓦五十一萬個支那瓦三十萬個、使用人員百二十名あり

◆中野煉瓦工場　は明治四十三年七月の創立、經營者は中野源太郎氏、資本金六百圓、一ケ年の煉瓦製造力二十萬個、頗る小規模に屬す

◆寺田琺瑯工場　は大正二年五月の創設にして寺川已之助の經營にかゝり、資本金は四千、製品の主なるものは火鉢、洗面器等二十餘種、使用人員十五名、動力等の設備なし

◆阿部油房　は大正七年二月の創立にして代表者は金井佐次氏資本金三十萬圓、大豆の消化數量は四百二十五萬斤、豆粕八十五萬枚を出す能力を有す原料は鴨綠江沿岸及び安東縣北滿地方にして動力は電力二十馬力、使用人員は三十五名位なり

◆安東電燈營業所　は滿鐵の經營にかゝり電燈電力の供給を目的こし目下第一、第二の發電所あり猶第三發電所の建設中、來年度第三發電所の成るに於ては新義州電力供給の豫約ありこ云ふ

◆以上　の各工場は凡て日本人及び朝鮮人の經營する處にして資本額四百四十九萬八千百圓、動力合計は一千五百五馬力なり

◎天寶山輕鐵

間島に於ける

間島に於ける日支合辦事業たる天寶山輕便鐵道は本年九月より測量に着手し本年內に會寧龍井村間の測量を終り明年一月より更に龍井村天寶山間の測量に着手し二月末頃までには全部を終了すべく線路工事は來春解氷を俟つて着手し會寧龍井村間は十月末までには竣工運行を開始すべく更に龍井村天寶山間は明年末を以て開通すべき豫定なるが線路は會寧より龍井村に至る現在の道路に依るは勿論なるも有名なる途中トラカイの險ある爲之を避け會寧より豆滿江を下りて鍾城に至り上三峰に出で此處より更に天寶山に至るものにて內龍井村天寶山間の距離は約五哩にて內龍井村會寧間約四十哩は大部分日本人側の經營なり工事上に於いて困難こすべきは會寧より上三峰に至る間豆滿江を縫ふ事五回五所に約七百尺內外の鐵橋を架する事にて間島領にも架橋箇所あるも何れも二三百尺內外に過ぎず其他は工事比較的容易なり會寧龍井村間の停車場は九箇所の豫定にて冬季降雪日に對する充分なる設備をなし旅客に對して不便を感ぜざる如くむべしこ尙ほ同輕鐵軌條は補充の輕鐵古軌條を陸軍より借用せしものにて最初は小蒸汽機關車を用ゆる輕鐵なりしも工事を急ぐ關係上先づ手押し式臺車こなし追つて小汽罐車式の輕鐵こなすべしこ(淸津)

◎淨瑠璃と人形

…人形間…眞の趣味…素人放れ……

鬼十生

◆淨瑠璃には人形間こいふものがある大阪の文樂座で修業した太夫や三味線彈きはこの人形間こいふ事に心を入てゐる、玄人の語り口が垢拔けがしてゐるのは熟練ばかりで無く、ツマリ人形間を巧に語るからである、

◆人形間を語るには人形が必要である、人形を用ひずに人形間を語るこいふ事は至難であるばかりで無く間が拔けて語り難いこいふものがあるが決してさうで無い、人形間の淨瑠璃の生命である、淨瑠璃の品位や情合は悉く人形間に依つて支配されてゐるこ思ふ

◆斯う云へばあまり極端に及ぶやうだが私は人形間を重んじてゐる無論自分ではその人形間が語れないが何うかして語りたいこ心掛けてゐる、私共の樣な素人が人形間を語りたいこ云つたら笑ふ人があるかも知れぬがそれは眞の淨瑠璃の趣味を解せぬ人である、

◆俗に素人離れがしてゐるこいふ是れは單に熟達してゐるのをいふので無い、人形間を語るからである、大阪で名を知られた素人に人形間を研究してゐるから何處かに綺麗な離れた妙所がある、綺こ呼吸もよく合つてゐる、人形間こいふ通りに語れこいふので無い、つても文樂座の太夫が人形を動かすが如く人形こなつて動くつもりで語れば好いのだ、

◆淨瑠璃は情を汲んで語る事が難しい、語れさうで語れぬのは情みを語る所で私共は一生涯研究しても語れぬものこ諦めてゐる、同じ一段の淨瑠璃を語る場合でも今日は出來が好いこ我乍ら思ふ事がある、さういふ時は聽衆はきつこ情を汲んで呉れる、下手は下手ながら聽衆の情腸を動かしてゐる是れは玄人筋でも素人でも變りは無いこ思ふ。

◆私は大阪で文樂の某名人について、一體素人は同じ物を何遍も語る方が上達の早道で無いかこいつた事があつた、素人は數は要らぬ語り馴れたものを語つた方が得策だこいふ意見を有つてゐたからであつた、處が名人の答は意外であつた、曰く同じ物のみ語るは不利益である、換て言へば道を急ぐな、此點は素人も玄人も同じである

◆素人は敎はつた師匠以外の三味線では語り難いこいふ、是れも一應道理のやうだが三味線そのものが筋道の立つたものなら語り難い譯は無いこ思ふ、ツマリ素人は概して稽古が道樂、綺に對する研究をせぬ、敎へた師匠でも好い加減に語り手に合せて行かねばならぬのが多いから他流の三味線では合ぬのは當然で不思議は無い、少しも綺の心得のある人は斯ういふ苦情は無いやうだ、只息の合ぬのは免れぬ處だが綺の手は何う行つても同じ事で決して語り手の不利益を招くべきものでは無いこ思ふ。

◎咸南物產共進會

愈々大正九年五月開催に決定す

咸鏡南道第一回物產共進會開會に就ては豫て其の開會時期に關し詮議の結果中なりしが咸興に於て…工事中なる咸鏡線…八年度迄に…の竣工なきに依り大正八年に開會するは自然不可能の狀態こなるより來る大正九年の春か秋かに於て開會する事に決したるが秋は國勢調査の爲各官公衙其の繁忙を極むるを以て愈々同共進會を大正九年五月一日より十五日間開催する事に決定したるが會場は咸興公立普通學校跡を更に擴張して之に充て會後は之れを公園こして永久に保存する筈なるが會期中約四里を隔て、輕鐵に便ある西湖津に水族館を設け尙飛行機等も招聘する事に議決したり(咸興)

◎夥しき白豆

撈の困難こ航路復活

日本郵船會社は近來浦鹽に於ける白豆出荷皆無なるに浦津に於ける白豆の滯貨夥しきに鑑み新に隨行同社の船山東丸を復航淸津に寄港せしむ……

◎此冬の北鮮大豆

……の本……たる城津より客月末下旬及び……地方へ向け移出したる大豆は本月十六日迄の分にて約三萬叺に達し此の外鮮人貿易商の手より沿岸航路を利用して元山へ移出せし數を合すれば四萬叺にも……する事なく而して一時旺盛を極めたる黑大豆は既に大部分積出されたるも尙ほ少々取引ありこ(淸津)

◎寒い中間の小驛に風に吹れて

汽車が一晝夜立往生

去廿四日午前七時三十分咸興驛發西湖津行輕鐵列車は途中に於て汽罐車に故障を生じ咸興西湖津兩驛の中間驛に於て進行不能こなり立往生をなし翌廿五日に至るも發車するを得ず應急修理を加へて漸く發車したるが近來同輕鐵は事故頻々こして一も定刻の發着を見し事なく乘客は頗る迷惑し不平の聲滿々たりこ(咸興)

◎賑かな歲の暮

各地こも未曾有の繁昌で歲を送る

◇咸興◇

好景氣……だが物價が下らぬ

昨今の咸興は咸鏡鐵道工事を初め各種の工事大いに勃興し之れに連れ日々各方面よりの來住者續々たる有樣にして從つて市中の景氣頗る良好なるが時恰も節季に際せる事こて各街共一層殷賑を來し居れるが諸物價は相變らず高値を持續し休戰條約締結前こ大差無き狀況にて殊に綿布の如きは暴落を見越せる各商店の移入手控への爲め市場品薄こなり去る十五日迄疋四圓九十錢なりしものが同二十日の市日には一躍五圓三十錢に昂騰し目下約四千疋の在荷に過ぎず益々騰貴の氣合を示めし居れるが購買力は一般好景氣に連れ內鮮人共頗る旺盛にして目下大賣出中の各和洋雜貨店共十二月中に於て一軒平均四五千圓の賣揚ある見込にて却々の盛況を呈し居れるが咸興の特產物たる大豆は例年今や出盛り期なるにも不拘少しき出廻りを見ず市中閑散を告げ居れるが右は過般來の流行性感冒が收穫調製上に影響を及ぼせる部分もあるべけれご其の大原因は當地方在來の舊習たる衡器に依らざる所謂山計……

◎安城の懸案解決

京畿道安城にて多年の懸案たりし學校組合唯一の財源なりし面こ共同經營の牛舍を面に全部讓り渡すこ及び內地人共同墓地こ面有の……こ交換の件に付久敷く內鮮人間に於て紛爭中でありしが今回其の筋の斡旋及び双方有志の再三の協議に據り面より相當額を組合に交付して圓滿なる解決を告げたるに依り去る二十五日午後一時より安城旅館に於て安城內鮮人官民有志の盛大なる交親會を開催せしが來會者……

……公事こなれるが目下淸津には內地行き白豆滯貨の外浦鹽行き滯貨も少からず然るに朝郵の浦鹽航路は本年中にて廢航こなり愈々これが滯貨に困難すべきを以て目下朝郵浦鹽航路をして往復共淸津に寄港せられん事を希望し今回聯合會及び貿易商組合より日郵本店に請願する所あり而して地方人士は十餘年來繼續して昨夏廢港せる神戶北鮮釜山元山淸津寄港の浦鹽航路を此際復活せん事を熱望し居れり(淸津)

◎牛肉の賣行

いくら殺しても足らぬ

浦鹽にては戰亂後牛價著しく暴騰の結果食肉供給上多大の支障を來せりされば司獸肉配給間に北鮮牛肉輸入の議あり咸北羅南森又男商店へ註文ありたる結果同商店は鏡城南門外池內國三合資の上需要に應ずる事こなり十一月三十日牛肉三百貫(斉牛六頭)の註文に接したれば直に屠殺解體の上輸送し更に本月十二日二千貫の註文に接したるも斉牛の購入の困難なりし故を以て僅に八百貫十七頭を屠殺解體送せりこ云ふ而して右取引方法は代金即時拂にして第一回輸送せるもの一貫目に就き一圓三十錢二回目のもの一圓五十錢なりしこ(淸津)

◎釜山小學校事件と

釜山府尹の言明

釜山小學校事件に關する若松府尹の言明に曰く『釜山小學校敎員が或る不平よりして辭表を提出したりこ云ふ記事は全然事實無根にして予は此の如き不穩當の行動を執る敎員は我が釜山敎育界に一人もなき事を保證するものなり、予は本案各學校敎員が其の職責に對し誠心誠意鞠躬しつゝある事實を確認し居れり殊に最近數年間我敎育界の益緊張せるは歷然たる事實……

◇淸津◇

貸出額の新記錄こ白豆

白豆出廻り旺盛に連れ淸津に於ける資金需要も盛んにて淸津唯一の金融機關たる殖產銀行支店の十一月中貸出高は百二十萬圓に達し新記錄を作れるが十二月に於ては二百萬圓に達すべき見込みなり而して淸津市地に於ける本年白豆の取引額は約二十四五萬石にも達すべき模樣なるが今日に取引されたるもの約十萬石にて本冬期間に十五六萬石の取引あるべく今後好景氣ならば全產額が取引さるゝに至らんこ(淸津)

……り使用し惡仲買人等が秘密の買占を爲すに起因するもの、如く尙ほ粳米も未だ捗々しき出廻りを見ざるが相場は非常に高く小豆一斗四圓三四十錢を唱へ居れり(咸興)

◇川柳壇新設◇

選者　劍花坊先生

川柳は平民文學中の最も啞き入事詩にして、源を江戶時代に發し、明治三十六年井上劍花坊先生起つてこれを新時代に當てはめしより日に月に隆盛を極めつゝあり、本紙は來大正八年一月の紙上より川柳壇を新設し、劍花坊先生を以て選者こし、左の方法を以て弘く全讀吟士を迎へんこす

(一)用紙ハガキに限る、無制限なれごも題每にハガキを別にせられたし(二)一月十日〆切(二)表面に『川柳壇投稿』こ書入る、事

題例

京……城……日……報　(字結び意味共に宜し)

京の町平所で上り下り　古川柳
京で見た物言ふ花を言ふ　劍花坊
城　(同上)
楠も鼻を抑へて乘て振り　古川柳
今も一日に顏城は拘らず　古川柳
日　(同上)
十三日迄は大石笑ひ　劍花坊
報　(同上)
復報の危篤師心矢の如し　劍花坊

◎慶興へ電信

時局の進展上淸津こ國境慶興間に新に電線を架設する事こなり本月一日來架設準備にて近く本工事に着手する筈なるが全路三十四里慶興より雄基を經て海岸に沿うて淸津へ來るものなるが開通は多分明年一月末なるべく目下工夫人夫五十餘名を使用し慶興淸津の兩方面より工事を急ぎつゝあるが該線開通の曉は如何なる方面に使用せらるるや未だ發表せられずこ(淸津)

◎乘二浦の町名

豫て其筋に於て詮議中なりし乘二浦の町名は頃日海港告示を以て愈左の如く發表せられたり(乘二浦)

黃州郡松林面內に乘二浦里、東乘二浦里、乘二浦里の名稱及區域を左の通定め大正八年一月一日より之を施行す

坂本町、谷町、旭町、大正町、吉田町、榮町、本町、明治町、水道町、十二浦町、竹園町、菱町、花石町

演藝案內

▲壽座　京城本町　電話五七八
義士劇　今回日本で初めて……新年の初興行　義士劇家演藝倶樂部一行四十餘名
▲▲▲▲義士乃家持ちの悲壯劇　此れに奇術を應用せる社界劇　電光作用こローマ術應用怪談劇　谷派俳優乘り込み十二月廿八日　一月元旦より日出度開場

▲有樂館　電話一五〇五
早川演藝部直營　活動寫眞常設館
……ユニヴァーサル會社特約
寶寫　寺事略報　五十號　全一卷
喜劇　我が子は何處へ　二卷
米國ユ社プリッパード特作品公開
人情劇　恐怖の一時間　二千呎
米國ユ社インプ特作
情緒劇　知らぬ妻　全六卷
最近シマチ界に破天荒の人氣を集めせる花形女優カーメル、マイヤース嬢の努力劇
家庭悲劇『父の淚』　三幕

▲壽館　本町二丁目　電話一〇五〇
東部ニ於テ新時代浪曲ノ泰斗ト評セラレタル　京山愛三大一座開演

▲黃金館　電話(夜間)二一六六　(晝間)二八三七
喜劇十二月二十五日より『阿漕が浦平次』　二百一四
大活會社最近の傑作品　悲劇『大秘密』　第十八篇
……『漂ふ舟』　全十五場

▲文樂座　本町五丁目　電話一三八
浪花節……

▲大正館　電話八七三　櫻井町
一月元旦より特別大興行
ニコ活劇『珍探偵』　全二卷
戰爭劇『偵察飛行』　全五卷
悲劇『丸橋忠彌』　全四卷
松之助……

▲浪花館　京城明治町　電話二六〇
新年元旦正午六時開演
……落語　……

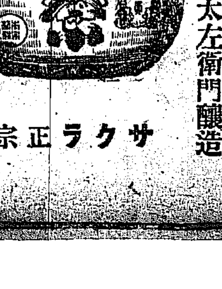
年末年始の禮を缺ぐ
釜山埋立新町　內藤八藏

年末年始の禮を缺ぐ
京城府太平通一丁目　多田順二郎

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)　電話二六〇〇番　一八番
酒井婦人病院
院長　酒井一郎

御買上金壹圓毎に景品券進呈
鞄は製造元の
古賀鞄製造所
京城明治町二丁目
電話一八三三番

兵庫縣灘魚崎
山邑太左衛門釀造
宮內省御用達



サクラ正宗
櫻正宗櫻魂發賣元
京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話長八四九番・一四五五番　振替府金口座京城七五番

李王殿下嘉納御品
品質撰擇
本品ハ純良白蔘ヲ原料トシテ精製セルチ以テ金褐色(紅蔘ト同色)ニシテ粘著力强ク郁佳ナル雅味ヲ有シ、尾蔘ヲ原料トシテ速製セル暗黑色ニシテ苦味强ク殘臭ヲ有スル粗惡品ト同觀スベカラズ

强壯、補血、興奮、保溫、緩和、發汗、健胃、利尿、鎭痛、收斂等ノ效治的效力ヲ有スルヲ以テ
○神經衰弱○精力減退○老衰○冷症○ロイマチス○貧血○婦人病○ヒステリー○腦病○心臟病○腎臟病○慢性胃腸病○陰萎○○○○
ニ應用セラルヽヲ特ニ
十瓦入　一圓五十錢
二十瓦入　二圓八十錢
四十瓦入　五圓四十錢
特約大販賣店
京城太平通一丁目
京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

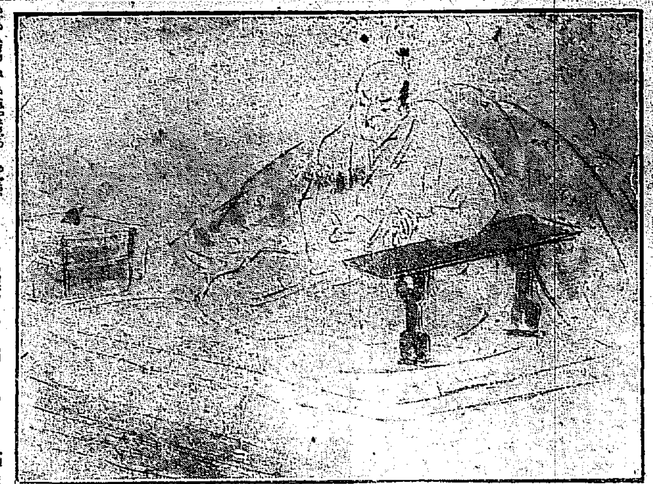
資本金　壹百萬圓
諸積立金　參十貳萬五千圓
株式會社　朝鮮商業銀行
京城南大門通一丁目
電話五五八・六八一・一三・三二〇七・四
振替京城一六三
一般銀行業
倉庫業
銀行長　趙鎭泰
支配人　豊田明敬
南大門支店　電話一七〇二番　振替一六〇六番
本町支店　電話一五八二番・二九四番　振替六二四番
仁川支店　電話八四九番・一〇六二番
平澤支店
群山支店
利川支店
東大門支店

京釜線(南行) 同(北行) 京義線(南行) 同(北行) 湖南線 京元線

卅六番角力

毛谷村六助 二百四席 桃川桂玉演口 浪上義三郎記速

秀吉は保月城城費のことをお受けをして我が陣中へ立歸る、家來一同待構へて居る處へ秀吉立歸つて參り 秀『コレ甚内、汝大儀ながら城内へ赴き、城將赤井光政を諭して參れ 甚『ハツ、不肖なる甚内へ大役仰せ附られ忝く存じます』と速かに諭して參りまする』と悠々と陣中を出た、是れも偉い人物だ何ういふ風に說得するとも明かす唯行つて參りますと云つて出掛けた、秀吉は素より甚内の器量は知つて云ひ附けたのであるから、大概ういふ考へは附いて居ります、偖甚内は腹卷小手脛當をして陣羽織を着て馬に打乘り、悠々と保月の大手雁木坂を登り 甚『是は木下藤吉郎の使者脇坂甚内、城將



赤井總右衛門光政殿に面會いたしたし』と呼ばはる、赤井の家來甚を光政に告げると、光政俗は今まで織田の同勢の中に金瓢の馬印の見ねざりしは秀吉の居らざりしか今初めて秀吉此處へ出陣爲し、我に使者を送りしは何事なるか、面會を發す、速かに此處へ案内いたせ』乃で脇坂は案内に從ひ左右忝涙の間を過ぎて一と室へ通ると、城將總右衛門脇息に凭れ、色青ざめ如何にも苦痛の證 家臣『恐れながら敵將木下藤吉秀吉の使者脇坂甚内御目通りへ罷り出ましてございます』 光政重き頭を上げて見ると、甚内と申す者、年齡十七八歳にして威風凛々たる相貌 光『秀吉の家來脇坂甚内とは其方なるか我は當城の主、赤井光政である、汝秀吉の使者として我が陣中へ來りしは、定めし此の光政を說かんが爲であらう』 甚『左樣御聞込みされば、主人秀吉より城將光政殿を說得し來れとの命を受け、若年ながら甚内城内へ來りお目通りいたせし處、流石天下に鳴る光政殿能く主人秀吉が胸中お察しあつて只今の御一言、敬服仕りまする』光政矢を含み 光『織田信長今川を滅し、美濃の齋藤を滅し近江の佐々木を討て武名を四海に輝かすは皆是汝の主人秀吉の力に依る處、其の秀吉が今日まで寄手の内にあらざりし故、光政無病息才なれば織田の同勢は疾く鏖殺しにいたすべきなれども、病の爲めに今日まで延引いたした、然し最早我運命も今限り、此の病は到底全治の見込みがない、勇士は己を知る者の爲に命を落す、明日は花々しく討つて出で、寄手の同勢を蹴散に碎き而して我一命を捨て、秀吉に當保月の城を渡すの覺悟、立歸つて秀吉に此の趣きを告げよ 甚『偖々赤井殿には我主人秀吉の胸中を察し、當城を秀吉にお渡しあるとは、主人の面目此の上もござらぬ 光『委細承知いたしてございます 光『然し汝は實に天晴なる者だ、明日斯くいふ總右衛門光政が討つて出で、戰ひ半ばに至らば汝を討つて近附かば光政の首は汝に遣はす日本無双の豪傑赤井光政を討つて天下に其の名を輝かせ』 甚内兩手を突き 甚『偖々不肖甚内に天下無双の豪傑赤井殿が御首を下さるとは忝なし、甚内が斯の一戰は明日にあり、厚く御禮申す 光『ウム愛奴じや、甚内それに就て明日の引出しとして褒美を取らせる、何にても望め、首さへ遣るといふ光政何にても望む物は否とは申さぬ』大勢の家來之を聞いて、大將があんな事を云つて何を望まれるか知れないと心配して居る 甚『左樣、折角……から光政殿が過し頃江山に狩獵の節千丈嶽にて……されたる縱の皮の指物を頂戴いたし度う存じます』此時光政笑を含み 光『ウム流石は勇士である、何を望むかと思ひしに縱の皮の指物を望むとは心憎しき若人である、然し今此の場に於て遣はしては、是は光政より貰つた指物だと云はれ、汝が威勢減し、明日我討つて出る時、例へ脊の指物が崩る・とも苦しうない、其の指物をして打つて出るから我を討つて首と縱の皮の指物を分捕して武名を天下に揚げよ』 甚内此の一言を聞いて大いに喜びました。

◎地方土木費調

大正六年度に於ける地方土木費を調査するに其總額通常土木費五百八十九萬三千九百三十二圓、災害土木費三十三萬五千五十八圓、計六百二十二萬八千九百八十九圓なり今之れを種類別に觀るときは河川に投じたる金額九萬四千五百九十八圓、疏水四千百三十圓、池沼湖二千八百五十六圓、道路三百六十七萬五千三百二十六圓、橋梁六十萬三千四百三十三圓、港灣一萬四千二圓、海岸八萬二千八百六十一圓、用悪水百十二萬四千四百二十圓、水道二十五萬七百四十九圓、砂防水四萬二千二百八十五圓、雜支出三十二萬四千百七十四圓にして猶之を事業別に分別するときは道事業に係る分百十九萬七千五百七十七圓、府事業四十二萬二千五百五圓、郡部事業二百三十四萬九千百七十五圓、面事業八十四萬五千四百十三圓、水利組合事業百四萬三千九百九十六圓、私人事業三十七萬三百二十六圓なりとす

◎勞銀の騰貴

鮮內道及び府所在地に於ける勞銀は職業に依り差あるも概して一般內外の騰貴を示せり斯は歐洲戰亂に由る諸工業の勃興に伴ふ需要の增加と諸物價の騰貴に因る當然の結果なり而して朝鮮人の勞銀の騰貴の割合が內地人に比し低率を示せるは注目に値すべき現象なりとす是れ畢竟新政施行以來勞働を卑下する古來の思想を打破し併せ儉力行の美風を助長するに努め一面實業教育の普及を圖り以て能率の增進に力を注ぎたる結果其の技能進步するに至りたること並に事業界の好況に伴ひ內地に於ても朝鮮人の需要增加し爲に鮮人勞働者の拂底を來せるに基因するものと認めらる而して支那人の勞銀も亦一般に高率の騰貴を示せり就中左官、木挽、煉瓦積、煉瓦造り、ペンキ塗職の如きは其の甚しきを見る是は一般工業の勃興に由り勤勉にして纖細の技巧に堪能なる支那人の需要劇增せしに由るものなり

十二月卅一日 壬子 (舊十一月廿九日) 命四綠 ▲晴 ▲劍鋒 ▲たつ (大祓ひ)

△四綠▼注意すべき日北は吉、南西は凶
△五黃▼遠つかさき日にてよろづ吉也
△六白▼甘明に油斷すべからざる日也
△七赤▼除なほせずに用心すれば吉也
△八白▼張り着飛すべき注意を要す
△九紫▼疏通、附り掛る殊に面白き日
△一白▼德を人に讓るとも後日酬あり
△二黑▼油斷なく掛けなさば吉なり
△三碧▼親しみのある日にて愉快なり

地方で十圓の品を産地で五圓にて賣升
現物價調節 買物は産地へ直接注文に限る物價調節商品
注文ハ男女の別年齡を小包で親切に取次す
本場大島紬 引大島紬 銘仙 縞銘仙 縮緬 新式縮緬 最上兵兒帶 特上兵兒帶 銅壺 縮緬臨瀨羽裏 山水 花紋紗 紋縮 金紗 縮緬
桐生織物元賣捌所

最新刊
日蓮主義の運用
ろしあ傳說集
朝鮮法令輯覽
商品券
大阪屋號 京城本町一丁目

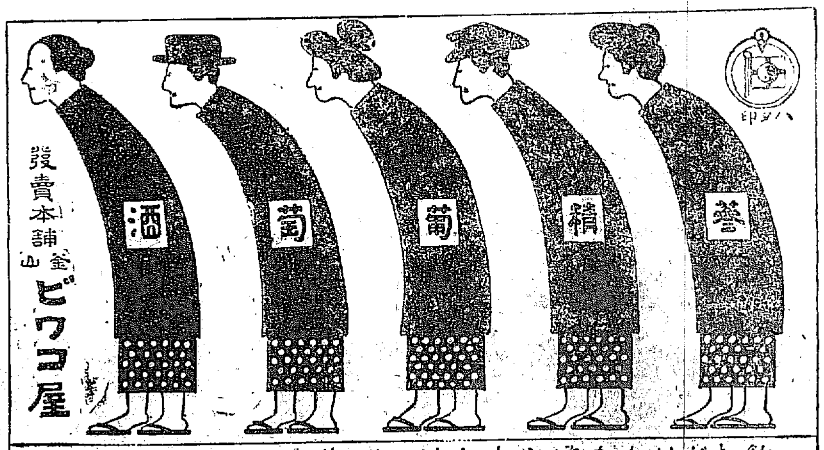
左官建築材料
セメント石灰 硅藻土火山灰 左官材料一式 各種色土砂 布海苔 各種塗料品 左官用東京鏝 煉瓦用京鏝 建築材料各種 各種耐火煉瓦 煉瓦土管瓦 各種防類製造
九州火山灰合資會社特約販賣
京城電氣株式會社製 瓦斯コークス コールタール 特約販賣
小野田セメント株式會社製 平壤石灰特約販賣
京城旭町一丁目 電話九八四番 卸商 戸澤商店

ミシン賣買
▲針▲油●部分品卸小賣 ▲確實ナル修繕 ▲營業案內進呈 ▲御用ノ方ハ御一報次第參上
京城旭町一ノ二 電話三三八番 楠商店

眼科專門 金井眼科醫院 京城若草町(總督府通り若草町新道路中程) 電一五五六 新築落成◎入院隨意 ◎日曜祭日午前中

人參エキス
陸軍御用 ツ
各支店及全國有名なる藥店に販賣仕居候 萬一藥店に品切の節は本店へ御注文願上候
朝鮮京城本町 津村兄弟商會 電話一四八〇番 電話一八七〇番 振替京城三五一一番 略號(ツ)又ハ(ムツ)

產科婦人科 二宮醫院 京城本町 電話一三〇一番 醫學士 二宮亮吉



外科 內科 小兒科 皮膚科 花柳病 島崎病院
入院隨意 夜間診察九時迄 京城旭町一丁目本町通り左に入る 電話二七三六番
院長 正六位勳四等功五級 島崎龍一

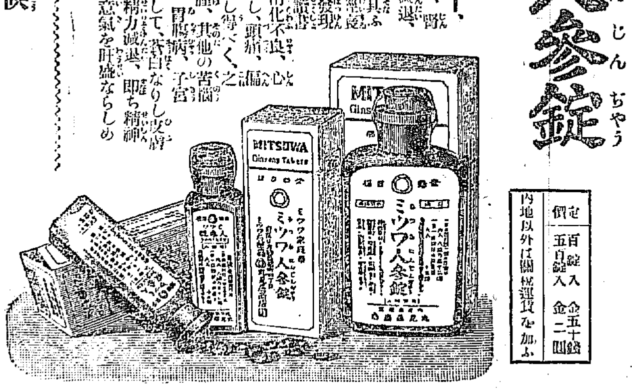
最上醬油 朝鮮仁川府 高杉醬油醸造場

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .50 500 tablets ¥ 2.00
This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only it improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

◎ミツワ人參錠
主效 神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦炎、貧血、老衰、發育不良、精力減退
本劑は鎮靜、催眠、利尿、健胃、强壯等の諸作用を具ふるものにして其醫治的効用の大要を擧ぐれば、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー及び是等の疾患に發する諸症候、即ち精神興奮、精神過敏、思考力判斷力記憶力減退、腫眠不安、消化不良、頭痛、頭重、眩暈、腦貧血、腦充血の如き神經系疾患を治し得べく、之を急性並に慢性腎臟炎に適用すれば、尿量異常、浮腫、其他の苦悶を除き、分娩前後及び結核、癲癇、梅毒、神經病、胃腸病、子宮病、諸種傳染病等に因る貧血並に營養不良を回復して蒼白なりし皮膚をして强壯なる血色に變ぜしめ體力を增進し、又精力減退、即ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒し、頭腦を明晰にし、意氣を旺盛ならしめ老衰の諸因を去る等の卓効を奏す。

ミツワ人參錠適應諸症候
一、神經衰弱 頭痛、頭重、耳鳴、難聽、眩暈、頭內壓迫、眼精疲勞、心悸亢進、不眠、嗜眠、判斷力減退、記憶力減退、志氣薄弱、嘔吐、食慾減退、口渴、曖氣、便通不整、皮膚灼熱、胃部膨滿、身體震顫、不眠、色慾異常、手足厥冷、器質異常、遺精、陰痿、生殖
二、ヒステリー
一、ヒポコンデリー 頭痛、耳鳴、難聽、視力減退、心悸亢進、精神興奮、意思異常、胃腸異常、曖氣、吃逆、胃痛、腹痛、腸痛、皮膚蒼白、皮膚知覺異常、浮腫、筋肉攣痙、筋攣縮、神經痛、卵巢の痛み、意志薄弱、疑懼不安、疾病重視
一、腦貧血 消化不良
頭痛、耳鳴、難聽、眩暈、蒼白、心悸亢進、思考力減退、不眠、腦充血、惡心、嘔吐、頭重、耳鳴、難聽、腫脹、顏面潮紅、心悸亢進、苦悶、惡心、嘔吐、失神、不眠、時々譫語、筋肉痙攣、筋肉攣縮、精神異常、卒倒
一、腎臟炎 尿量異常、尿變色、尿潤濁、蛋白尿、血尿、浮腫、頻數、利尿、排尿困難、皮膚瘙痒、視力減退、鼻出血、心悸亢進、不眠、不安、舌粘稠、乾燥、口渴、便通不整、嘔吐、食慾減退

定價 百錠入 金五十錢 五百錠入 金二圓 內地以外は關稅運賃を加ふ



「ホーオー印ミルク」は!!
外國製品を凌駕し輸入を防遏したり品質優秀名聲津々たるホーオー印ミルクを御愛用あれ……
發賣元 京城本町一丁目 株式會社明治屋京城支店

人參ニ優ル强壯劑
淫羊藿エキス いんやうくわくえきす
通稱三枝九葉草エキス
適應症 一、思考判斷及び記憶力の減耗を癒す 二、腦書計算ノ疲勞を癒す 三、筋骨の疼痛を癒し又疲勞を恢復す 四、產前產後及病後の衰弱 五、血ノ道 六、子なき人に良し 七、貧血症に良し 八、手足腰の冷ゆるに良し 九、陰萎遺精及子宮病に良し
主效 神經衰弱、胃腸病、貧血症、腺病、精神病、ヒステリー、ヒポコンデリー、肝臟病、リウマチス、老衰、精力減退
定價 三十丸入 壹圓 七十五丸入 貳圓 百五十丸入 參圓五拾錢 送料 內地二十錢 外地卅錢
全國一手販賣 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番
京城特約店 山岸天佑堂 北島支店

大阪商船汽船出帆

(仁川出帆)
×神戶大阪行 安東丸 十二月 日 正午出
×木浦大阪行 信濃川丸 十二月 日 正午出
(元山出帆)
西湖津、新浦、城津、清津行 ◎宮島丸 十二月卅一日後十二時
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 ◎安平丸 十二月一日後九時出
(大連出帆)
上海、芝罘、打狗行 ◎湖北丸 十二月一日前六時出
◎基隆丸 十二月二日後六時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行 一年四回 北米行 每月一回
南米行 一年四回 孟買行 每月一回
濠洲行 每月一回 南洋行 每月二回

御注意 ◎外國航路ノ航海ヲ除ク外御乘船賃ハ五分引ヲ以テ連絡仕候◎朝鮮鐵道及南滿洲鐵道ト連絡切符發賣仕候 切符ハ御乘船本社支店及代理店ニテ發賣致候×印ハ一等客船

大阪商船株式會社仁川支店 電話二二番 五五〇番
京城內國通運會社 電話七〇八番
仁川本町一丁目 京城旅館 電話二六二番
仁川港町 郵船組 電話七四二番
釜山 ……

朝鮮郵船出帆

大阪船ハ都合ニ依リ寄港ヲ變更スル場合有之候ニ付詳細ハ本社又ハ各地支店出張所代理店ニツキ御承合被下度候
▲敦賀行 清津發、城津、元山、經由
平安丸 一月五日 清津發
平安丸 一月七日 元山發
▲清津行 大阪發、門司、釜山、元山經由
平壤丸 十二月十九日 釜山發
平壤丸 二月廿一日 元山發
▲雄基行 關門ヲ、釜山、各港經由×印ハ原道寄港セズ
×山陽丸 十二月廿九日 釜山發
山陽丸 一月一日 元山發
忠清丸 十二月一日 元山發
▲元山雄基線 元山起點各港經由雄基間往復
穩城丸 一月四日 元山發
▲大阪行 浦潮發、城津、元山、釜山、神戶經由
越後丸 十二月三十日 元山發
越後丸 一月一日 釜山發
▲關門行 雄基發、清津、城津、元山、各港經由×印ハ江原道不寄
×京畿丸 一月三日 元山發
京畿丸 一月六日 元山發
蔚山丸 十二月廿九日 釜山發
蔚山丸 一月一日 釜山發
▲金剛山遊覽便 元山發長箭經由
一、隔月六回但自六月至十八回
▲鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由
晉德丸 十二月三十日 釜山發
▲釜山浦項線 釜山發、方魚津、浦項間毎日一回出帆
▲濟州島行 釜山發長承浦、麗水、五文經由
昌平丸 一月二日 釜山發
▲濟州島行 木浦與東廻ハ於安島經由 西廻ハ島嶼、秋子島經由
公州丸 一月三日 木浦發
慶興丸 一月六日 木浦發
▲釜山麗水線 釜山、麗水間往復 釜山麗水ヨリ毎日一回出帆
▲木浦麗水線 釜山行麗水ニテ接續
巨濟丸 一月一日 木浦發
▲多島海行 木浦發多島海各島經由
慶興丸 一月二日 木浦發
▲木浦行 仁川發各地經由
全州丸 一月二日 仁川發
▲海州行 仁川發江華島經由
仁川、海州相互ヨリ毎日一回出帆
▲鎮南浦行 仁川發各港經由
晋州丸 一月二日 仁川發
▲大連行 青島行 仁川發芝罘經由
江原丸 一月七日 仁川發
本社 京城南大門通(電話長一九五・二三二)
釜山支店 元山出張所 仁川出張所 木浦 ……
其他各寄港地ニ荷客取扱店

◎日本郵船出帆

(仁川出帆)
大連、秦皇島行 都田丸 一月三日 朝出帆
酒合 ニヨリ早發スルコトアルベシ
相模丸 十二月廿三日 正午出帆
高砂丸 十二月廿六日 正午出帆
仁川海岸町一丁目(電話十番) 堀、同…部

第五版

京城日報

[illegible]以て英國より各方面に至る英國船の運賃に對抗して引下げしめ以て[illegible]

▲優秀の地位　[illegible]むるには何こしても[illegible]より安き運賃を以て之を[illegible]ざる可から[illegible]兩國は互に競爭をなすに至るべく既に其第一矢は米國に依つて放た[illegible]

◎外米代用事情　岡本局長談

東京取引所に於ける外米代用[illegible]内地米[illegible]制度が外米の[illegible]促進し[illegible]準備の爲め與へられ[illegible]延いて[illegible]營業細則は一月中旬に[illegible]新則を適用するもの[illegible]

京城日報　餞年の辭

日月流水の如く、歳は聿に暮れぬ。既往一年間を回想するに、喜ぶべきもの、悲しむべきもの、憤るべきもの、笑ふべきもの、紛々ごして吾人の腦裡に浮び來る。[illegible]めて波瀾の大なる年なりき。其の大波瀾の最たるものは、いふまでもなく前後五箇年に亘れる歐洲大戰亂の終結を告げたるの事にして、唯此の一事を以てするも、大正七年は永久に歴史に大書せらるべきなり。

內治に關しては、內閣の更迭ありご雖も、要するに恒例を繰り返せるに過ぎず、特に重大視するに足らず。吾人が聖代の不祥事こして、最も遺憾を禁じ得ざるは、所謂米騷動の勃發なるも、之がため政府に我社會政策に大なる覺醒を與へたることも、掩ふべからざるの事實なれば、禍の裏面にも、多少の得る所なしこいふべからず。之に關聯する食料問題は、未だ解決を告げずご雖も、政府は鋭意進行の途に在るもの〻如く、新年に入らば多少緩和すべき希望なきにあらず。

外交に就いては、各國こも軍事匆忙の際こて、特に著しき活動あるを見ず。晩近に至りては眼前の大問題たる講和會議に對し、全力を集中しあるを以て、畢竟本年中の外交問題は、明年に入らざれば解決せざるものご見るべきなり。但支那に對する南北和協の忠告は、歴々効果の見るべきものあり、氣運の然らしむる所なりこはいへ、亦帝國努力の結果ならずばあらず。

經濟界は未だ戰時經濟の狀態を脱せざるも、一部に於る反動の襲來は掩ふべからず。其波動は今後如何なる狀態を以て進行するや測るべからざるも、概するに本年は好況を以て始終したるものこいはざるべからず。

教育界に於て特記すべきここは多年の宿題たる學制案に解決を告げたるここにして、國論の趨歸ご一致したるは喜ぶべし。更に吾人の恐懼に堪へざるは、高等教育機關完成の爲めに内帑金一千萬圓下賜の事なり。政府の計畫にして完成を告げたらんには、全く新面目を開くものこいふべく、餘事はさて措き之のみは現內閣の善政こして特書せらるべきなり。

軍事界に於ける西伯利出兵は、多少不徹底に終れるの感ありご雖も、チェック救援、西伯利の秩序恢復は豫定の功を奏したるを以て、是れ以上を望むは、或は望むもの〻無理なるやも知れず。地中海に於ける海軍の活動は、前年來の繼續にして、其の勞苦の大なる列國の共に認むる所。吾人は海陸の將士に對し、深く感謝の意を表す。

朝鮮地方に關する事柄こしては、王世子ご梨本宮方子女王殿下との間に、御婚約の成りたる芽出たきここの外、特に記すべきものなきは、併合以來八年の星霜を經、ますます風の浹洽せる兆ご見るべく、吾人の慶賀に堪へざる所なり。庶幾くは更に一歩を進め、大に同化の實を擧げんここを。

大正七年は以上に概述せる事實を遺し、將に永遠に去らんごす。而も本年に起りたる大波瀾大問題の多くは、明年に持越さるべき餘儀なき仕合せに在り。吾人こゝに舊を送り、更に新を迎へて、讀者ご筆陣の前に見ゆんここを期す。

通俗教育改善案(下)

第九項にいふ(九)健全なる娯樂の詩樂を奨勵し、特に俗謠の改善を圖る事。其の理由に曰く『音樂は社會風教に裨益する所頗る大なるものあるを以て、健全なる娯樂の音樂を奨勵するの要あり、又俗謠は適當の新作を奨勵し、或は舊來のものを改作し、之が改良を圖る時は善良なる風俗を維持するに於て、其裨益する所勘からざるべし、依つて此目的を達するため、適當の方法を講ぜらるゝの要ありこ認む』こ。

本項に就きて考ふべきは、中橋文相の小學校唱歌に關する意見なりごす。文相はいふ『君が代は神聖なる國歌こして時ご場所こに制限がある、從つて興旺した時に朗朗こして高く唱ふべく我國には未だ適當なる唱歌がない、此意味に於て小學校の唱歌は餘りに幼稚に失して居る、無論可憐なる童の口より之を聞くを否むものではないが、如何なる場合に如何なる階級又は年齢の人にも共通して唱はるべき歌謠がないのはどうしたものか、國民的の歌謠、それは自ら國の理想を宣傳するも良し、大に雄々の開を蒔ぶるも佳し、何れにもせよ自他共に合唱して、興趣湧くべきもの〻作製されんとを希す』こ。吾人も全く文相ご同感なり。殊に俗謠の改良は最も切要の問題なるも、從來改作せられたる少の歌曲に就いて之を見るに、餘りに雅正を期するがために、曲の滋味を全く沒却し、ために少しも社會の歡迎を受けざるの觀に乏しからず。本項を實行するに就ては、特に注意を要すべきなり。

第十項にいふ(十)[illegible]席等の[illegible]を圖る事、其の理由に曰く『[illegible]席等に於ては、從來[illegible]取締をなすに止り、積極的の改善[illegible]を目的こせる施設に至つては、未だ見るべきものなきが如し、然れども是又社會の風教に重大の關係を有するものなるを以て、之を[illegible]用して通俗教育に資せしむるとを要す、其方法は一にして足らずご雖も、或は善良なる讀物の供給を奬勵し、或ひは相當の方法に依つて、寄席の興業主等ご接觸を有ち刺戟を與へて改良を促すが如きは其最も適切なるものご思考す』こ。

第十一項にいふ(十一)學校外に於ける體育上の施設を改善し、其普及を圖るご共に、競技に伴なふ弊害を除く事。其の理由に曰く『一般國民をして其身體を強健にし、其氣風を剛健ならしめんご圖るには大いに學校外に於ける體育上の施設を改善し、其普及を圖らざるべからず、健全なる體育の普及を圖るには、宜しく地方青年團體等に於ける學校外體育施設を奬勵すると共に、各種學校地方公共團體、青年團、在郷軍人會等ご連絡協力して、健全なる體育の發達を促すに於て、適當なる方法を講ぜざるべからず、而して往々競技に因はれ、徒らに勝敗を競ひ、或は一種の興行物の如く、喝采を博するの弊なき能はざるを以て、學校外に於ける體育の普及奬勵するご共に之が弊害を矯正するの要あるを認む』こ。以上二項、理由明白にして、附言の要なし。

主査委員會の成案は以上にて盡されたるが、最後に附言していへらく『以上諸項を實行するには、相當の經費を必要こするは勿論なるを以て、當局に於ては、速かに之れが支出の途を講ぜられんここを求む』こ是れ固より當然なり。之れを要するに教育委員會の決議は其の骨子を定めたるのみにして、實際の施設に至りては、政府當局ご國民ご協同一致の上に定むべきものにして、其の効果の與否も亦之に待たざるべからず。世間或は此の成案を以て平凡に失すご刺譏するものなきにあらずご雖も、事は必ずしも新奇拔をのみ貴ぶべからず。特に教育上の施設の如き、最も着實穩健なるを要す、成案を事實にするに於いては、斷じて平々凡々たるものにあらざるをや。

墺匈國の政變(三)

東京　一記者

序に墺國內獨逸族政黨であつて獨逸本國の政黨ご關係を有して居つたのは社會黨が最も密接であつて、各種宣言の公表に對し常に交渉をなす所があつたものである。又墺國內獨逸族は、共和政治の一國こなり、來る可き獨逸共和國を組成すべき一邦たらんごし、既に伯林に之れが交渉員を派遣して居るこいふ。蓋し彼等は以前ご一して居つたこごのある歴史もあり、且つ新獨逸政府も合同を聲明するが如き宣言を爲して居るのである。

次にチェック、スロヴアック族に就て講究するご、彼のボヘミヤ及びモラヴイアのチェック、スロヴアック族は、十月十九日プラーグ市に國民

▽會議を開催　して、チェック、スロヴアク共和國の獨立を宣言し、事實上同地方の政權を掌握してゐるのである。茲に於て同地駐屯の墺洪軍隊は解散し、獨逸政府も亦其の獨立を承認してゐたこ云ふここである。元來此のチェック、スロヴアック族は、國內に於て獨立運動に努むるご共に、巴里倫敦等にも國民委員會を置いて、聯合側の助力を仰ぎ、既に本年春以來聯合諸國は其の獨立を承認してゐたものであつて、此獨立運動首腦者マサリック博士は、當時米國に滯在して居つたがかくて遂に第一回の大統領に

▽就任するに　至るや間もなく米國を出發し十二月二十日其の首府こもいふべきプラーグ市に、國民の大歡迎裡に入るに至つたのである。又ウイルソン氏は本年一月八日の所謂十四箇條中に於ては、唯墺匈國內の民族自治を述べてゐるに止めてゐたが、十月十八日の對墺回答中に於ては、其後事態變化し、既に聯合側が、チェック及南スラヴの獨立を承認したるに依つて、十四箇條の承認のみでは不可なる旨を答へた所、十月二十八日の墺國の對米答申には、ウイルソン氏の意見には全然同意なる旨を述べるに至つた。次に南スラヴ族の情勢に就ては其の筋にも報道區々にして、今直ちに其の形勢の眞相を知るは難きも、要するに今尚ほ

▽混沌裡に在　るもの〻如くである。而して其の革命の中心は、二地乃至三地に在るもの〻如く、アグラムに於ては、クロアシア族主こなり、以てクロアシア、スラヴオニア、ダルマチアを合併せる議會なるものを造り、クロアシア、スラヴオニア、ダルマチアを合併した所の一獨立國の宣言を爲したこ云ひ、サラエヴオでは、塞耳維族が主こなり、ボスニア、ヘルゼゴヴイナを含む南スラヴ地方ご塞耳維王國この合併を布告したこ云ふ。又ザクレツブ國民會本部は、南スラヴ三民族即ちセルビア、クロアシア、スロヴエーンの聯合にて、獨立國家組織を宣言したごも傳へらる。次に匈國內の情勢も

▽綜合するご　ウエッケルレの辭職後ヂアンサヂック伯が內閣を造りたけれども、直ちに顛覆し、十一月一日カロリー內閣が組織せらるゝに至る。同內閣は一般に氣受けが好いこいふここである。又十月三十日ブダペストに於て騷擾勃發し、之れが鎭壓に赴いた四個聯隊は、國民評議會に加擔し、其後實務黨の首領である親獨主義のチスサ伯は、散歩中に暗殺せられたこ云ひ、一般に親獨主義者は次第に失墜するに至つたのである。政體問題は普通直接無記名投票に依る選擧(女子も參加する)によつて、立法議會を召集し以て之れが決定を爲す筈であつたが、其の

▽成立を俟た　ずして十一月十六日共和政體の樹立並びに國會の消滅を宣布し、カール皇帝は十一月十三日附カロリー伯宛書翰を以て匈牙利王退位を通牒するに至つた。かくて新匈牙利民族の國の地域は、舊匈牙利王國中より南方のクロアシア及びスラヴオニア並に北境のスロヴアツキア州を除いた所の、所謂匈牙利本部のみであらうこ思はれる。又南方のクロアシア族はフイウメ市の騷動以來南スラヴの獨立運動を起し、北境のスロヴアツク族はボヘミアのチェツク族ご合同して獨立するに至つてゐる。以上同國內に於ける主なる民族に就ては、其の大要を述べた次第であるが、尚ほ其他の民族に就ても、之が

▽研究の歩を　辿りつゝはあるのであるが、何しろ其の資料の乏しきご、反つて煩累に亘るものあれば、他日稿を改むるこごにしよう。

列強對支那經濟發展(十六)

▽漢陽製鐵廠

本製鐵廠は千八百九十二年(光緒十八年)に創設したるものにして、漢口の對岸漢陽の大別山下にある廣大なる敷地を有し、工場、倉庫、貯水池、貯炭所より碼頭に至るまで設備間然する所なく、熔鑛爐は最初二基なりしが後、一基を增し更に大正四年一月一基を增設し現今猶ほ着々こして擴張計畫を爲し居れり、其他數個のシーメンマルチン爐ありて鋼鐵を作り且鐵軌、鐵板等をも製作す、又大冶縣道士袱に分廠設中なりこ云ふ、開業當時に於て資金窮乏の爲めに張之洞氏は漢陽鐵廠の技師長こして獨人を招聘するの條件を附し三百萬元の借款を起したるとありしが、招聘せられたる獨人は徒らに勢力を張り專橫甚だしかりしを以て後患を憂ひ自耳義より別途の借款を起して之れを返還し同時に獨人の技師を解傭して比國人を聘するに至れり而して鐵山廠に於て使用せる石炭は萍郷の炭より採掘するものなり

▽萍郷炭山

張之洞氏は既に大冶に鐵山を發見し漢陽に製鐵廠を創設して製鐵事業を開始したるも未だ其附近に良坑を發見する能はざりしが故に自然燃料は之れを我國に仰がざるを得ず甚だしく不經濟なるを以て茲に獨逸人技師ライノン氏をして湖南、湖北、江西等隣省の炭田に就て實地踏査を爲さしむライノン氏は萍郷炭坑の極めて豐富且良質なるを報告したるより遂に之れを以て漢陽製鐵廠の燃料供給地ご定むるに至れり萍郷の炭田は江西省[illegible]縣の西方萍郷より四十支里なる雲居鎭附近に於て最も大なる炭脈を有し現に採掘せられ居るは安源山炭坑にして獨逸人の調査する所に依れば毎年七十萬噸を採掘するものごして能く二百年を支持し得べしご云ふ本公司の有する鑛區は安源山を中心こして南北二十支里、東西十四支里に渉り而して炭層は十層あり一層の厚さ約十呎、傾斜[illegible]度炭質は無煙炭にして硫黄分少く燃燒力強く頗る良質のものたるは茲に喋々するを俟たざる也

▽漢冶萍沿革

大冶鐵山、漢陽鐵廠、萍郷炭山は元來湖廣總督張之洞氏に依りて各個別々に經營せられしも當初の事業は計畫に不備の點あり且つ技術猶は幼稚なりしより製品の粗惡なるを免るべからず而も製鐵に必要なる石炭を輸入したるこ其他支[illegible]官辦一流の情弊纏綿して經營遂に失敗に歸し政府より支出し又は各方より流用したる資金に五百萬[illegible]兩は全く[illegible]消するに至れり公司の事業狀態既に此の如し加ふるに日清戰爭の結果賠償金の支擔に苦しむの事情あるを以て張之洞は明治廿九年四月是等の諸事業を擧げて六百萬兩を以て之を盛宣懷氏に讓渡するに至れり斯くして盛氏は之れが經營の衝に當りたるが明治四十一年に至り鐵山、鐵廠、炭坑の三者を併合して一株式會社こ爲し農商部の登錄を經て漢冶萍煤鐵廠礦有限公司こ稱するに至れり(某經濟通談)

本紙定價　壹部金五錢▲壹箇月金七十五錢▲[illegible]▲六箇月同五圓廿錢▲壹箇年同拾圓▲郵券代用二割增

廣告料金　五號十五字詰一行一圓五錢▲特別二號[illegible]▲二號七字詰同二圓▲三號八字詰同二圓▲四號九字詰同一圓五十錢▲六號十七字詰同一圓五錢

京城太平通一丁目　發行所　合資會社京城日報社

發行兼編輯人　奧田直毅

印刷人　小川三之介

電話番號　編輯局[illegible]　營業局[illegible]　振替口座[illegible]

朝鮮總督府編纂(最新版)

朝鮮法令輯覽

定價十二圓　送料三十六錢

京城本町二ノ五　振替京城七三　大阪屋號書店　電話一〇八六 八八四

白神洋行　京城

鐵　鋼材　浪板、平板　針金、洋釘

新田帶革總代理店　(物價表御一報次第無代進呈)

ペイント、油類一切　コークス、セメント　耐火煉瓦、モルタル　スコツプ、シヤブル　帶革、ロープ　機械、工具　附屬品　其他

東天紅先づ映ず卓上の二大雜誌努力拔群內容日本一

中學生　新年倍大號

試みに內容の三分の一を見よ

卷頭偉觀　我輩が今一度少年になったら……侯爵 大隈重信　元帥 川村景明　男爵 澁澤榮一

◇菊花の御紋章……佐々木文學士
◎男はこんな男で……八波文學士
◇金門灣頭の海豹岩……大島技師
◎壯麗なるヴェルザイユ宮殿……工學博士 塚本靖
◎大戰講和會議の大舞臺 カイゼルの祖父即位室の話……理學博士 橫山又次郎
◎東京こいふ遊星
(寄宿舍一年生)……(中學小說) 葛原𦱳
亡父の聲……(探偵小說) 赤下田村
靴泥棒……(熱血小說) 生方敏郎
七草の地震……(滑稽小說) 大久保湘南
親子三代の太陽征伐……田村白揚

漫畫……新年御目出たう、中學めぐり、地球が逆轉したら?
新年餘興　空界。地中。海底大競走
對話世界年の國めぐり……一我輩は鬼である……新年俳談
新年五大附錄
中學小說　英次ご百合子……服部嘉流
秘密小說　林檎園の殺人……一萍水
歷史小說　堀川夜討……山本硏六
滑稽小說　橫綱の養子……野尻抱影
冒險小說　寶庫の怪賊……三澤碧水
四百年、千年、千五百年の頃　府立三中教諭橫井春野
西洋童話入り　春興夢物語　弘、五湖、抱琴、浦南、山左、青流、無須路、白揚、碧水、抱影
二百人當選校外試驗新課題の發表——誰にも出來る問題
新年餘興　新例日本英雄豪傑大福引　今年の運は長久もまつ此のくじから開ける!!

定價本號に限り　四十五錢　送料半年分三錢　共一年分金一圓六十錢

東京麴町富士見町　研究社　振替東京二八〇六一　發賣捌　全國各地書店

受驗中心月刊雜誌　受驗と學生

大正八年度　受驗準備號

大正八年度並に將來の受驗者は如何なる學校を選擇し如何なる方法にて準備し如何なる注意を以て受驗すべきか
本誌新年の特別尨大號は喇喨たる進軍の曲を奏して受驗者の爲に諸君の入學戰鬪に成算を指示す

各種高等專門學校の
入學受驗案內
校長并教授より志望者へ
各學科の受驗準備法
各科入學試驗問題の豫想
體格試驗の標準
八年度入學の難易
教授出題の模擬試驗問題
答案の書方ご受驗上の注意
合格者ご不合格者の受驗記
學校案內ご生徒募集

談話者及執筆者
中橋文部大臣　阪田東京高工校長　奈佐東高商教授　池田新潟醫專校長　石橋商船校長　中司水產教務主任　若樹桐生染織教授　土屋早大醫科主任　本多高等獸醫校長　村上音樂學校長　高木慈惠院校長　菅谷外語幹事　原田歷大學長　鈴川美術教務主任　田中六高教授　山口高商教授　笠原高工教授　鈴木二高工教授　三守一高工教授　今井一高教授　松村豫備校主幹　本田早大教授　遠藤早大教授　秋山法政講師
青木一高教授　木村高商教授　長越商船教授　佐々木慶大教授　勝田商船教授　藤森日土講習講師　高垣陸軍教授　池田陸軍教授　高見豫備校講師　吉川豫備校講師　久保田立教講師　深原四中教諭　小木曾四中教諭　福原附屬教諭　高田一中教諭　伊藤一中教諭　山崎一中教諭　傳田三中教諭　鈴木開成中講師　神崎莊中講師　塚本哲三氏　出口競氏　各學校受驗者「以上」

定價本號に限り　四十錢　送料半年分二錢　共一年分金一圓廿錢

東京麴町富士見町　研究社　振替東京二八〇六一　發賣捌　全國各地書店

最新刊

本多日生著　日蓮主義の運用　定價壹圓九十錢　送料十四錢
朝鮮法令輯覽　總督府編　[illegible]
國民日本歷史　高村彥四　[illegible]
世界大戰史上卷　早大　[illegible]
佛教の要諦　立花俊道　[illegible]
ろしあ傳說集　定價一圓三十五錢　送料八錢
偶像再興　村辻哲郎　[illegible]
ダクチルタングステンの發明　[illegible]
兒童問題の將來　[illegible]
株式ご社債　[illegible]
朝鮮法令輯覽　[illegible]
逸話の庫　[illegible]
英文青年處世教訓　[illegible]
小說春の水　[illegible]
贈物用には商品券　各支店及東京鮮滿各書店共通

京城本町一丁目　大阪屋號　[illegible]

內地旅行中歲末年始缺禮仕候
十二月廿七日　網戶得哉

喪中に付年末歲始の禮を缺ぐ
仁川花町　辻川富重

內地旅行中に付年末歲始缺禮
吉田長治

上京中に付年末年始の禮を缺く
大垣丈夫

旅行中に付年末年始欠禮仕候
高木德彌

旅行中に付年末年始の禮を缺ぐ
鮎貝房之進

喪中　年賀缺禮
開城　辯護士　白井水城　久野傳次郎

喪中に付年末年始缺禮仕候
慶北軍威郡　太田政助

東上中年末年首の禮を缺ぐ
岡本齒科醫院　岡本亮作

喪中に付歲末年首の禮を缺ぐ
京城府大和町二丁目三十七番地　島田房太郎

喪中に付年賀缺禮
京城日報社　松尾茂吉

◎植民地豫算決定

朝鮮臺灣兩總督府關東都督府及び樺太廳各植民地明年度豫算は本月中旬拓殖局の審議を經大藏省にて査定中の處廿八日午後に至り全部の決定を見たり査定の結果は各植民地共多少の削減變更を見たるも内地各省に比しては極めて僅少なり尙査定に比較的長時日を要したるは朝鮮臺灣の豫算に於て財源として計上せられたる公債募集金受け入の額に對し大藏省より削減を要求したる爲再三折衝したると糶穀輸出關稅撤廢の結果臺灣の歳入に就き交渉を要したるが爲めなり

▽朝鮮總督府

朝鮮總督府豫算は既に發表せられたる如くなるが大藏省に於て査定の結果削減せられたるは仁川芝罘間新航路補助等約二十萬餘圓を出でず又財源の必要上受け入金二百八十五萬圓を要求したるも公債募集の關係上約百六十萬圓を削減し此分は前年度繰入金三百二萬六千百五圓の増加とあるを四百四十三萬千百六十四圓と訂正せられたり

▽關東都督府

歳入歳出共各總額八百六十八萬八千圓にして本年度に比し二百六萬三千圓の増加なるが當初の提案より約二十萬圓削減されたり本年度に比し歳入増加額の主なるもの郵便電信電話の收入増加百萬圓、印紙稅收入増加十萬圓、官有物拂下代増加八萬九千圓、補充金増加百萬圓（時局の爲め經費増加せるより先に山本內閣當時削減せる國庫補助金を復活し總額三百萬圓とせしものなり）歳出新事業費増額の主なるもの警官増俸費増加三十六萬圓、大連地方法院出張所新設費十萬圓、遞信事業擴進に要する經費臨時十七萬圓（經常）四十四萬圓、官吏臨時手當増加七十七萬六千圓、物價騰貴に因る諸經費増加八十萬圓なり

▽臺灣總督府

歳入歳出共各七千三十萬三千餘圓本年度に比し千五百四萬二千餘圓の増加にして臺北廳長勅任昇進に關する經費の外左の削減せられたるもの無く彼の日月潭水田事業は半官半民の經營に移す爲め豫算より除外されたり

▽樺太廳

歳入出共各總額五百八十萬圓本年度に比し百五十萬圓の増加にして削除されたるは同廳內務部長を勅任官に昇任せしむる極めて小額の經費に過ぎず（東京特電）

◇新獨組織協議會 ＝將來大統領の權能＝

伯林來電＝目下伯林に開催中なる新獨逸組織に關する協議會にては選擧されたる大統領は政府の首長たる可く其權能は米國大統領と英國皇帝との中間に位する事に議決せり 右大統領は議會の原則に基づき內閣を組織す可く內閣は聯邦共和國代表者より成る參議院に依りて補佐さる可し（巴里電報）

◇獨逸新外務大臣

伯林來電＝丁抹駐剳獨逸公使ボルヒドルフ伯は獨逸外務大臣に任ぜられたり（巴里電報）

◇瑞典艦隊出現

瑞典艦隊はイストリア海岸沖に現はれたり（コペンハーゲン電報）

◇各皇族以下 年末御挨拶

久邇宮同妃、北白川宮、李王世子各殿下を始め奉り各大臣其他文武百官は廿九日午前十時より參內年末御挨拶を言上の上退去ありたり（東京特電）

◇東拓總裁重任

廿八日左の通辭令ありたり（東京特電）

從三位勳一等 石塚英藏
東洋拓殖會社總裁被仰付

◇哈市電燈不許

哈爾賓電燈會社は夜間時々消燈し加へて電燈料を倍加したる爲め評判宜しからず多くの露人は米國の資本にて發電所を經營す可き希望を漏らしつゝあり（哈爾賓電報）

◎選擧權擴張 政友政調會

政友會にては二十五日午後一時より[illegible]藤、河上、粕谷、渡邊、一宮、菅原、田村、小川、赤尾、齋藤、瀨村、野、奧野、石井、中野の各委員出席の上小山[illegible]同調査特別委員武藤金吉氏より委[illegible]順次報告することゝなり即ち

▼工場法時間期限問題 に就ては同調査特別委員長小林鉦藏氏より[illegible]

▼生計資料に關する調査 に就き同調査[illegible]食料並に一般生活資料に關し一般[illegible]國民思想及び其生活に影響等に關する調査の結果を報告し勝後に[illegible]

▲選擧法改正問題 に[illegible]卒業し獨立の[illegible]資格を一般公民權を有する者及び中學校及び之れと同等以上の學校を[illegible]を唱へ[illegible]

◎獨逸憲法會議 第一次大統領

其筋に達したる情報を綜合するに十六日以來伯林に於て開催中なりし勞兵大會は引續き五日間に亙りて各派の論戰頗る激烈を極め殊に憲法會議開催期に關しては一月十九日說を唱ふるもの三月十六日說を主張するもの及び之れを開催せず勞兵會に於て政權を把握せんとする者等ありて容易に決せざりしが最終日即ち二十日に至りエーベルト政府派の提議に係る一月十九日開催說は多數を以て可決せられスパルタカス團派の主張は全然葬り去られたり軍隊の大部分も亦政府を支持しつゝあればエーベルト政府の基礎は幾分立直りたるやの觀あり然れどもリーブクネヒト一派が尙は依然として其勢力を持續しつゝあるは勿論從來多數社會黨に次いで尙ほ多少とも穩健なる主張を持しつゝありたるハーゼ獨立社會黨の一派も漸次政府との關係より離脫して以てスパルタカス團に接近しつゝあり且つ今後の測る可からざるものあり之に加ふるに失業者の態度復員軍隊の經營、而して各州食糧の配給其宜しきを缺くが如きこともあらんには全獨逸の事態亦容易に樂觀を許さゞるものあらん然れども唯だ今日の情勢より觀れば憲法會議は兎も角も一月十九日に開會せられエーベルト氏は恐らく第一次獨逸大統領たるに至る可く斯て聯合國との間の講和會議にはエーベルト政府能く其衝に當り得んかと觀測せらる（東京）

◎高等教育機關擴張概要 ＝文部省公表＝

謹んで惟んみるに明治天皇夙に臣民の教育に軫念あらせ給ひ明治五年學制を頒布して我國教育制度の基礎を樹て尋で明治二十三年教育に關する勅語を下して帝國教育の大本を定め給ひ文教の根基牢乎として千載動くことなし 天皇陛下亦深く叡慮を教育に注がせられ先帝の遺緒を紹述して倍々其の振興を圖らんとし給ひて大正四年優詔を當局大臣に賜ふ、聖旨宏遠國務燮理の任に在る者の洵に恐懼に堪へざる所なり謹しみて惟るに教育は國家隆替の繫かる所內は

▲皇運を隆昌 にし國民の康福を增進するの途に考へ外は宇內の大勢に順應して世界の文明に貢獻するの方に察し制度と施設と相俟つて其宜しきを制せざるべからず然るに之れが方策未だ國運の發展の勢ひに應ずること能はず徒らに懸案として歷代の內閣に傳承せられたり若し此の懸案を解決することなからんか如何ぞ帝國が此の重大なる時局に處し將來列强の間に伍して我國威を宣揚し以て帝國の使命を完うすることを得んや現內閣は成立以來教育の振興が國運發展の根柢たるを信じ深く思ひを學制の改正に致し嚮に大學令及び高等學校令を公布すると共に之が實際の効果を收むるの途を講ずるの極めて緊要なるを認め各般の事情を考察して計畫遺漏なからんことを期せり而して統計に徵するに大正六年度に於て官公私立專門學校及び之と同一程度の學校に入學を志願したるもの、數約五萬六千人に對し入學者僅に約一萬四千人に過ぎず該志願者の中には一人にして二校以上を志願せるものあり又從來入學を阻止せられたる者年々累加し來れる實情あり前記の

▲數字を基準 とするは或は妥當にあらざるべしと雖も我國高等教育機關の狹小にして學生の收容力寡少なるが爲青年子弟をして向學の志しを遂げしむる事能はざるの事實極めて大なるもののあるは之を證して餘あり而して大正五年に於ける中學校卒業者の數二萬千餘人を基本とし從來の增加率に依り大正八年より六年後なる大正十四年に於ける中學校卒業者の數を推定すれば其數殆ど三萬人に達すべく而も之等の卒業者にして高等の學校に入學志願する者の數は大體に於て約三分の一なるに依り此等の者を收容せんが爲には大正十四年には二萬人に對する設備を爲すを必要とす內閣は此の計數に依り內は國民向學の趨向に考へ外は宇內の大勢に察し更に帝國財政の現況と其將來とに鑑み愼重攻究以て高等教育機關の適當なる擴張を計畫せり 天皇陛下は深く此の趣きを聞召され本月二十五日御思召を以て內帑金一千萬圓下賜の旨內閣總理大臣に御沙汰あらせられたり吾人は此の優渥なる聖旨を拜して感激措く所を知らず最善を盡して之が計畫を實行し以て

▲聖旨の萬一 に奉答せんことを期し即ち皇室の御下賜金を基本として財政の策を立て高等教育機關擴張に關し必要なる法律案及び豫算案を帝國議會に提出し其の協贊を求めんとす現在高等程度の學校の收容力は官立學校六千人公私立學校等八千人計一萬四千人にして之れに既定計畫に屬する未開校の收容人員二千二百人を加ふるも總數一萬六千二百人に過ぎざるを以て前記二萬人を收容せんが爲には其の差數三千八百人に對する擴張を要す而も從來入學志願者より見るに今後公私立學校收容力の增大は容易に之れを期待すること能はざるを以て新に官立の高等學校十校實業專門學校十七校專門學校二校を新設し且つ既設學校に就き若干の擴張を行ひ收容力の擴充を圖らんとす又高等學校の增設に伴なひ其の卒業者約二千人を增加するに至るを以て大學の收容力を擴張するの必要を認め新に帝國大學に四學部を增設し又既設學部中の分科大學の擴張を行ふと共に東京高等商業學校及び醫學專門學校五校を昇格して單科大學たらしめんとす此等計畫の遂行上

▲教官の供給 に於ては固より多大の考慮を要するの必要あるに依り其の準備として文部省外國留學生を增派し且つ帝國大學の給與の制度を擴充せんとす上述の計畫は急速之れを實行するの要あるを認め大正八年度以降大正十三年度に至る六箇年度間に之れを完成し遲くも大正十四年度までには總て授業を開始せんことを期す以上の計畫實施に要する臨時費は建設擴張費三千九百五十餘萬圓教官養成費四百五十餘萬圓計四千四百餘萬圓にして之れを大正八年度以降大正十三年度に至る六箇年度の繼續費となさんとす而して此の經費は皇室御下賜金及び公債借入金を以て之れを支辨せんとす（東京）

◇普通學校增加計畫

朝鮮總督府に於ける普通學校は從來每年二十校を增加せしむる計畫なるも今後五十校を增加し宛八年後には四百餘校を增加し總計八百五十校となさんとす其經費は主として普通學校費用令に依りて支辨せんとするものにして國庫の支出金は格別增加せず（東京特電）

◎支那航路補助費削減

遞信局にては明年四月一日より仁川鎭南浦大連芝罘青島の新設航路を朝鮮郵船會社に命令し經營せしむべくその補助費十五萬圓を明年度豫算に計上したるに政府に於て不急の事業と認められ削除の運命に遭ひたりと

▲某有力者談 總督府の支那航路補助費削減に付某有力者は曰く仁川と北支那間の航路は現に朝鮮郵船會社で自由航路として經營せるため新命令航路の補助費を削られ新航路が出現しなくても仁川を基點とする北支那航路は絕ゆる譯ではない若し新航路の補助費が通過すれば現在一艘の就航船が二隻となり從つて發著回數も增加し且つ鎭南浦にも寄港するため同地と大連青島の貿易に効果は多いのであるが削除を見たのは仁川築港の利用上より見るも仁川南浦と北支貿易より觀測するも遺憾である思ふに朝鮮貿易の對外發展は西方は支那北方は露領に延びるのが順序であり自然である然も其の第一步たる北支那命令航路の實現を見得ざるは惜くも實現の遲るゝは惜しい事である

◎輸移出稅撤廢 朝鮮產業發達促進＝某當局者談

朝鮮の輸移出稅撤廢は既に發表せられたる八年度總督府特別會計豫算綱要にある如く韓國併合の際列國に對する宣言に基づく朝鮮の關稅制度据置期間が大正九年八月を以て滿了すべきに就き之が

▲豫備行爲の順序 として朝鮮產原料品に對し無稅の取扱を爲さんとするものなり而して免稅の適用を受く可き原料品として推するものは小麥、大豆、小豆、荏胡麻子、鐵鑛、石炭、牛皮、生牛等にして之に依る關稅收入年額八十五萬圓の減少を來す事となるべし元來朝鮮の產業的發展の特質及び母國植民地間の經濟的交通の圓滿を期せんとするが爲めには相互に障壁を撤廢し以て母子兩國互に其の長所を發揮して相互共益の目的を達せしめざる可からず今回の免除も全く此の趣意に外ならず尤も全部の產物に對しては今尙種々の關係上之れが斷行し難き理由あり今後

▲漸次諸種の狀態 を考覈し實行せらるべきものならんも鮮產としては此免除に依り農業生產者の利益することは多大にして原料國として最も至當の措置と云はざる可からず或は消費者側より見れば不利益と見る可き點もあらんも內地に向つて廉價なる原料を供給すれば之れに依る加工品を廉價に需要し得る、譯にて結局事實上共益となる可き勘定なり原料品需要地たる內地の利益する事は實に莫大なるものにして第一朝鮮の稅率は總て從價稅なれば時の相場の變動に依り稅金の賦課を異にし原料仕入見込上頗る不利益を蒙る事多く又

▲輸送上の不便も 撤廢せられ朝鮮產品の利用上利益を受くる事多大なり今昨年に於ける免稅品の移出額を示せば左の如し

▲小麥百四十萬八千二百四十六圓 ▲大豆九百三十七萬九百圓 ▲小豆十八萬三千三百四十八圓 ▲荏胡麻子二十三萬六千八十二圓 ▲鐵鑛四十一萬五千百九圓 ▲石炭四十七萬三千三十二圓 ▲牛皮二百一萬九千七百八十一圓

◎新事業の打擊 米價の前途 笹岡東拓支配人談

前後二箇月に亙り內地中業界[illegible]して漸落し來れる[illegible]は[illegible]く[illegible]朝鮮に九州の米價[illegible]地が飛び[illegible]つて來たが[illegible]業界は[illegible]新來で何れも大なり小なり打擊を受けないものはない殊に製錬事業中の鑛業の如きは最たるものと思はれる然し乍ら打擊を受けると云つても既設事業はその利益を減殺され[illegible]然し餘りの高價は國民生活の危機であり生活難より如何なる珍事の再發を見るかも知れぬ從つて政府の調節策は必ず講ぜらるべしこの氣勢へあり現に既に頭を出しかゝつたやうであるが旁々强氣の豫期する如き暴騰は見られまい然し乍ら供給の不足は依然として不足である外米大輸入の如き方策確的とならざる限り目先意外の安値を見る事は至難であらう

◎陸軍新年式

朝鮮軍司令部に於ける一月一日の新年式施行順序左の如し

▲順序次第 （一）無位無勳下士判任文官同待遇者及屆員、軍司令官に對し賀詞（二）將校同相當官高等文官 御眞影拜賀其順序左の如し（上長官以下は三名乃至五名宛）軍司令官、將官同相當官（朝鮮將官を含む）參謀部、副官部、法官部、軍醫部、經理部、獸醫部、陸軍倉庫、衛戍監獄、朝鮮軍司令部附朝鮮將校、陸軍倉庫、衛戍監獄、朝鮮步兵隊（三）下士判任文官同待遇者及屆員 御眞影拜賀其の順序方法前項に準ず

▲新年式心得 來る大正八年一月一日新年式に付左の通心得べし（一）軍司令部、陸軍倉庫、衛戍監獄、朝鮮步兵隊將校同相當官高等文官同待遇者及軍司令部在勤准士官下士判任文官同待遇者屆員は午前十時軍司令部に參集すべし（二）式の順序は別紙の通とす但し服裝は正裝（同相當服）とす但し服裝なき者は『フロックコート』若くは羽織袴とす

◎鮮銀會議終了

木村東京駐在理事の入城後連日開會中なりし朝鮮銀行の重役會議は當期決算銀行金融分擔率其他各種の案件審議略決定を見二十九日の會合を以て終了したりと

◎京龍電話改制

京城龍山間の電話は現在一通話三十分毎に三錢を徵し居れるが近く一通話に五分の制限を置かず一回を三錢に改むる事となるべく目下遞信當局にて考究中なり尙ほ右の改制は一般に多少の便宜を增進すべきも一通話に三分以上を費す事は稀に付結局電話收入の受くべき影響は些少のものならん

◎鮮鐵滯貨量

歲末の迴著激增し鐵道託送激增の結果朝鮮線の滯貨は目下の所十二萬噸に達し居れるが年內の託送申込もあり旁々越年は十三萬噸こならん

◎東拓新株上場

東洋拓殖會社新株十二圓五十錢拂込みは明年一月より大阪株式取引所の定期建株として上場する事となれり

大阪財界便り

▲財界依然沈滯 阪神地方に於ける財界は目下小康の態なるも果して何時頃まで現狀を維持し得るや頗る疑問である阪神に於ける一流商店會社若くは銀行側は成るべく恐慌を避けんが爲蹉跌商店に對しては競ふて之が救濟に全力を注ぎ居るを以て辛うじて醜態を暴露せざるも若し續々破綻商店を出さんか遂に拾收すべからざる事態を現出するであらう染料藥品は勿論鐵地金の市價は激落する海運界は苦境に陷る海外取引は全く杜絕し僅々引合あるも餘りの安値にて到底引合はず造船、鑛物、銑工場、金屬精煉等は續々休業するといふ有樣なるを以て假令此の年末は無事通過するとするも貿易業者の破綻も物業者の投出し小工場の困憊等相俟つて險惡なる形勢を示すのではないか最近では一般に捗々敷取引なく何れも新年と共に人氣の一轉せん事を唯一の期待となし居れるもの、如く一流筋にても專ら苦情解約の整理に沒頭してゐる

▲海運界益悲境 休戰以來貿易界の沈衰せる爲船腹に過剩を來せることより船價、運賃、傭船料の如き激落に次ぐに激落を重ね神戶海運市場は殆ど常なく相對取引にて標準はあつて無きが如く而も歐洲船の復活は沈滯せる海運界を一層脅威して居る

▲近神戶某船主の接せる其筋よりの通牒によれば米國政府は二十三艘の日本船舶は傭船滿期と共に返還するといふ事である若し對米提船にして返還されんか去らぬだに船腹スペースの過剩に苦しめる我海運市場は如何に此の十五萬噸を消化すべきか恐らく一層の不況を誘致するの外はあるまい（大阪支局）

◎法政研究會名刺交換會 市內永樂町二丁目法政研究會にては一月四日正午より同會講堂に於て名刺交換會を兼ね新年祝賀會を催す由出席希望者は至急申込むべしと

◎木村理事歸東期 入城中の朝鮮銀行東京駐在理事木村雄次氏は來る一日午前八時四十分南大門驛發列車にて歸東すべし

◎久保京管局長歸期 東上中の久保京管局長は三十日午後九時十分南大門驛著列車にて歸任すべし

人事消息

▲南大郎氏（陸軍省軍務局騎兵課長）廿九日朝入城巴城館へ ▲石田保道氏（陸軍參謀本部員）同上 ▲橫田源五郎氏（陸軍騎兵實施學校教官）同上 ▲荒井久氏（軍馬補充本部々員）同上 ▲佐田作人氏（鹿兒島軍馬補充支部長）同 ▲賀田金三郎氏 廿日朝退城

鳥瞰錄

宇都宮軍司令官は謹嚴な人で、極めて淺い所がある▲將軍の少尉任官以來三十餘年、その間將軍の副官を受けた從卒は入り交りたち交り三十餘名の多きに及んでゐる▲その從卒だつた者に對し、司令官は新年になると必ず自筆の賀狀を出してゐるさうな、一寸奧床しい所がある▲鮮人の景氣は米や綿や繭が此の夏から秋に亙つた高價で素敵によい▲どの位好いかと云ふに付漢城銀行の韓專務は確けた例を引いて語る▲或筋の確かな調を聞くと、京城內地人側券番の收入は去年が十九萬圓で、今年は三十萬圓つまり五割强の增に過ぎません▲所が鮮人側は去年僅々八萬圓に過ぎなかつたのに、今年は二十四萬圓乃ち三倍と云ふ激進▲花柳界の成績は一般景氣のバロメーターである、そこに內地人側は昨年に比し五割增し、鮮人側は三倍と云ふ比較が出ては鮮人の懷ろ加減が分らう▲此の鮮人券番の收入激增は地方の地主連や巨商の豪遊が主である、去年迄は京城で遊ぶものは殆んど京城の人に限られてゐたが、然し今年は地方人が多くなり、然もその地方人は京城の人を壓倒するやうになつた……と▲鮮人財力の增加は喜ぶべし矣、然し以上の事實は鮮人のために喜ぶべきか否か識者を俟つて後知る事であるまい▲本紙も之れで終刊、明けまして御目出度く見えます▲鳥瞰子は十萬讀者諸君の目出度く迎年あらん事を祈りつゝ擱筆する

終刊

本朝刊を以て本年の終刊とす新春更に新裝を凝らして讀者諸君に見ゆべし尤も其間重要事件發生の際は即時號外を以て報道すべし

[illegible]引續き資金の移動活潑にして手形割引歩合は依然一錢九厘乃至二錢を唱へ短期資金は翌日拂一錢九厘より二錢八厘に落付きたり歲末金融の繁忙を示し何れも記錄的數字を現はせり即ち兌換券發行高は九億九千八百八十八萬圓となり廿六日には忽々十億圏に上るべき勢ひを示し[illegible]

◎列車に投石

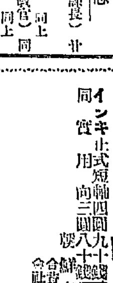
廿四日夜九時五十七分大田發列車が六時五十分頃慶北秋風嶺驛附近を進行中列車を目がけて投石せるものあり[illegible]

大日本優等清酒

品質純良 衛生無害
攝津御影町 釀造元 嘉納合名會社
京城本町二丁目廿番地 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

旅行中に付年末年始の禮を缺く
京城古市町 苫米地造酒彌

年末年始の贈物に アナタの好意を幾久しく記念する パイン萬年筆を御撰び下さい



◎体裁頗る優美な化粧箱の用意有之候
割引特價 最新線出式五圓八十錢 同 金飾付七圓八十錢
インキ止式短軸四圓九十錢 パイン學生號一圓八十錢
同 實用向二圓八十錢 ビジネスペン(普通)二圓九十錢
合資會社 鮮京城府 京城日報社代理部 電話六〇〇九番 振替京城三〇〇番

旅行中に付年末年始缺禮仕候
京城 志岐信太郎

來るべき新年の初興行
義士廼家演藝倶樂部一行は 舊義士廼家派一座 女優男優四十餘名大一座 地術師マンマル師一座
日本で初て組織された奇術と魔術の應用劇
義士廼家特色の悲喜劇什界劇 これに奇魔術を應用せる
電光作用とローマ術應用にて 新らしき試みの怪談劇
折紙付の面白き芝居正月には お早く御越し願上候
京城本町 電話五七八 壽座

ヒコーキ印粉劑消火器

素破!!と言ふ時はこれだッ!!
京城 熊平支店 電話六二四番 振替口座京城二二一三番

會葬御禮 木谷安吉

鮮滿無萬の特約店にて販賣す
大學病院撰範方劑 解熱完全劑 カゼピリン KAZEPIRIN 東京
本舖 淺野藥天堂藥局
秋の風引には

京城學校組合告示第九號
大正七年度京城學校組合歲入出豫算追加更正ノ件大正七年十二月二十九日京城學校組合會ノ議決ヲ經タリ其ノ要領左ノ如シ
大正七年十二月二十九日 朝鮮總督府々尹 金谷充
大正七年度京城學校組合歲入出追加更正豫算
歲入 第十一款 雜收入 金五百圓
歲出 第十一款 [illegible] 第十二款 豫備費 三千四百九十二圓

生徒募集
大正八年四月入學セシムベキ生徒ヲ募集ス詳細ハ本年十二月廿四日朝鮮官報ヲ參照セラレタシ
京城醫學專門學校

京日案內
▲店員入用（本人至急來談あれ）京城永樂町二 鐵田商店

ゴム玩具 十二月二日より三十一日迄 割引賣出し 定價表無料郵送 京城本町通 大陽ゴム商會 電話二六〇二

ストーブ大見切 京城北米倉町 金物商 有好傳吉 電話長一五四六番

御袴仕立專門 京城本町四ノ一五 山崎商店

至急乳兒預け度し又は保姆に雇入れてもよし(本年九月生男子) 希望の方は至急御來談を乞ふ 京城大平町二丁目更科東 遠藤

簿記係一名入用 希望者は自筆履歷書携帶來談 南大門外 齋藤商店

毛皮なめし並仕立 京城本町二 [illegible]

旭炭團卸小賣 [illegible] 宮崎商店

恩給立替 金は即時御渡し致します [illegible] 西村商會

ほねつぎ 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場

……[illegible]木、中西の各[illegible]、吉植、小林……
[illegible]副會長、波尾、清水、林、戸[illegible]
委、熊谷、松田、山本、竹内、岩崎、武
……經過を報告し夫より各部會及び特別委員會に於ける經過並に結果に就ては部長又は特別委員長より
……に關する明細延長に就き農商務當局この交渉顛末並に其結果に就き報告し更に
▼鴨緑江事件に關する調査 に就き前調査特別委員長吉植庄一郎氏より顛末事件の原因及び其性質並に
……前議會に同黨案として一度提出したるものなれば一般的調査會を避け特に選擧權擴張問題に就き其實

縁起棚を飾る爲に……年の市落ちそな檐に灯の映る(廿九日)

○砂糖が少し騰る

何故騰る=朝鮮でも消費税を取る

財政獨立の影響で。但し二割内外・朝鮮で廿二萬斤の砂糖を舐める

朝鮮は甘蔗の天下で砂糖が非常に廉い、全く廉いので現今白一斤が十七八錢から二十錢位の處、之を内地の四十錢以上なのに比べると半額以下で内地への

▽お土産 として砂糖が金が掛らず先方で喜ばれると云ふ處から最も恰好な品として盛んに持つて歸られつゝあるが、然らば何が故に内地は砂糖が不廉で朝鮮が廉いのか別に朝鮮で砂糖が製造されてる譯でも無いが之は税金が掛らぬからである即ち砂糖を舐るに就ての税で砂糖消費税を納付額も取られてるからである處が朝鮮には此の砂糖消費税が一厘も掛つてるないから

▽廉い譯 である然るに今度朝鮮では財政の獨立をして帝國の一般會計から年々莫大な補給金を貰つてゐたのを一切斷つて親の脛嚙りをやめて獨り立ちをしたり又産業發達促進の爲めに原料品の移出税を撤廢して年額八十五萬餘圓の關税收入が減つたりしたので之の埋め合せをする爲めとあつて砂糖の消費税を少しばかり取り立てる事になつたのである甘黨も何時迄もい、兒にはなれぬ譯であるが然し

▽消費税 と云つても内地に比べれば極僅のものであつて其割合に就ては今之れを發表の限りでは無いが從價で無く重量税で先づ二割内外の見當のものと見れば大差は無いつまり二十錢の砂糖が二十三四錢になる位のもので之れを内地の七割(尤も砂糖が不廉くなつたので現今は消費税を引き下げたが以前は十割乃至十一割であつた)に比べるとまだ〳〵朝鮮は廉い廉いと云はねばならぬので之れ位の負擔は忍ばねばなるまい、一般朝鮮では一年

▽何れ位 の砂糖を消費してゐるかと云ふと白以外のものが二十一萬六千三百斤此の價格一萬九千百十八圓白其他で千八百九十八萬九千六十五斤此の價格二百十八萬一千二百五十二圓氷砂糖及び角砂糖類で九萬八千百九十七斤此の價格二萬一千八百九十二圓合計一千九百三十四萬六千八百斤で價格二百二十二萬七千二百六十二圓と云ふ數字を示し重なる供給地は内地で直接輸入されるものでは支那香港、英國、米國、比律賓、蘭領印度等である

◎京城神社の……歳旦祭と元始祭

新玉の年の初めの御賀の謹詞仕へ奉る爲め京城神社にては元旦の朔日の曉祭、登る午前九時より中祭式により歳旦祭が執行されまた三日の御政治はじめ

◇元始祭 も同樣三日の午前十一時から行はれる其祭式次第は二祭とも定刻前に係職員神殿其他の裝飾を奉仕し諸事整備せるを待つて谷村宮司は衣冠正裝にて各祭員伶人を隨ひ社殿、祓所に參集する此の前後に總督府高官地方官民子總代等も同所參集し一同修祓を受け伶人奏樂裡に宮司以下祭員は殿内に着床する次いで谷村宮司は御扉、和琴奏樂一同平伏の裡に

◇御開扉 を奉仕するそれから祭員が神饌を傳供し宮司は祝詞を奏上するそれが終ると宮司以下玉串を奉り神饌を徹し宮司は再び昇殿して御扉の裡に御閉扉を仕へ奉りて式が終る筈なるが例によつて參拜者で賑ふことであらう

◎平和の春を迎へて美術界 活氣横溢す

來春は美術界も非常に活氣を呈するやうだ先づ一月には東京に於ける閨秀洋畫家の團體たる朱葉會の人々が第一回の旗揚げ展覽會を三越で開會する之は岡田三郎助、安井曾太郎、有島生馬、滿谷國四郎氏の鑑查の下に作品を募集するので朱葉會の名は與謝野晶子女史の命する處會員には小笠原伯夫人、津輕伯夫人、荷伯夫人などの貴婦人に津田青楓氏夫人敏子、杉浦非水氏夫人翠子、井上よし子、ヽ馬里枝などの洋畫家も居り中々賑かである

◇二月 には上野竹の臺の陳列會で獨立繪畫協會の展覽會が開かれる之は北川金鱗、鳥谷幡山、淨法寺高陽、田村彩湖、丹波緑川などの顔觸れで一月中旬新年會を伊香保に開いて氣勢を揚げ二月初旬から展覽會を開くのである尚一月には三越で岡田其石氏の個人展覽會も開かれる三月には讀賣藝術社の展覽會も開かれるし同社の中の五人組たる菊谷脩師、三井萬里、織田觀湖、小林源太郎、矢澤絃月氏等の展覽會も開かれる筈で昨今準備中である尚美術院の展覽會も同じく開催の運びになならう

◇四月 になると先づ今の處決定して居るのが川合玉堂氏門下の前社中の展覽會が多分三越に開かれる筈だ顔觸は菊秋華社、村上鳳湖、藤岡紫峰、佐々木尚文、今中素友などの諸氏に石渡風古、松本姿水、清水淇琴などの花形も加へて花々しく打つて出る筈だ定めし見事な奮闘振を示すであらう五月には少し變つた系國的に鳥居初代から近く國貞芳年邊までの各時代名作展覽會を山村耕花氏やバーカー氏等の出品も多數に上らう場所は多分白木屋と決定するであらう

◎庭園農業◇獨逸で鐵道員に奬勵す

圖小規模農業組合八百に達す 蜜蜂四萬房、山羊十五萬頭等

戰に破れた獨逸國民は今又食料品の大缺乏に依つて生活上の大なる壓迫を受け少しでも多く食料品を産しようと苦心し各家庭で空地があれば庭園農業を開始し又縣廳でも職員に小規模な家畜飼養や庭園農業を奬勵する樣になつた右に付消息通なる某氏曰く『食糧品の缺乏價格の大暴騰は今や

◇世界共通 の問題であるが獨逸では此食料品の増加を計る爲に開戰以來鐵道吏員に先づ小規模の家畜飼養や庭園農業を奬勵した所が非常に成績が好く現今では食糧補給に大なる貢獻を爲すに至つた今其數から見ても鐵道吏員中七千名は蜜蜂三萬五千房、八萬二千名は山羊十五萬頭を飼育し十三萬餘名は兎八十萬匹を飼育するのを始め養鷄は七十萬以上に上り豚其他の大家畜を飼養するもの等に空前の記録を作るに至つた又鐵道院は

◇荒地の開 拓を奬勵し今年度に於て更に開拓されたものが實に三萬町歩に及び此種の施設を今後益々助長し他の各官廳にも普及する爲め鐵道吏員中經驗あるものを顧問として時々協議會を開いて共同種子園、模範農園等を設けする準備をし又講習會を開いて傾斜地や石垣等には園果樹の栽培を計畫しつゝあつて是等小規模農園の組合が概ね八百以上に達し二者の組合が之れに補助を與へ家畜保險の制度をも設けられて居る』

◎晦日詣 好景氣の影響で註文澤山

◇戰後發行で製造準備

一箇年の總勘定をして出度い新年を迎へようと云ふ年の瀨は遠慮なく迫つて來た吾國の風習として此の大晦日の夜は晦日蕎麥を一般に食ふのが不文の規定の樣になつて居る處が本年の好景氣は斯麼處迄影響を與へて五十百と云ふ大註文が一週間も前からドン〳〵舞ひ込んで來るので市内各蕎麥屋はお隣でい、韓が出來ると大ニコ〳〵もので既に晦日蕎麥の製造準備を急いで居る

圖活動寫眞が犯罪の起因たる場合が尠くないので映畫の取締は將來益々嚴重となる

◇『鐵の爪』を見て惡心を起した……

活動寫眞が直接間接に犯罪の動機となる場合のある事は從來屢々報ぜられたる所であるが目下視廳の保安部に於て是等の消息を調査中であるが之れを大別する時は活動寫眞館内と館外とに分かつ事が出來る館内は映寫中暗黑となるので比較的犯罪を行ひ易く大正七年一月より十一月まで

◆刑事訴追 したるもの三十九件で中掏摸三十七件竊盜一、遺失物横領一で行政處分を行ひたるもの計五百三十四件である又猥褻行爲百十件(猥褻誘引行爲二件)喧嘩百九十八件喧噪五十八件泥醉者八件雜沓を增すの行爲十七で婦女の風紀上の犯罪其の他は昨年まで多少あつたが活動寫眞取締令を發して今年は根絶した尚刑事訴追により處罰されたるものは前記三十九件の中三十五件を出してゐる尚活動寫眞の映畫により其

◆惡感化を 受けて犯罪行爲を爲したるものと判明しあるもの大正七年十一月迄にて百三十九件で中殺人二件竊盜(掏摸を含む)百三十七件で(大正六年の竊盜六十四件賭錢一、殺人未遂一、計六十六件)に對して七十三件の增加である之れは表面より見る時は活動寫眞に起因する犯罪が如何にも多數の如く見ゆるが一方刑事警察の發達により檢擧數が増加したとも見做し得るから遽ちに斷言する事が出來ない活動寫眞に

◆起因する 是までの犯罪の中主なる例を擧げれば大正五年七月下谷上根岸八番鈴木久治郎長女幾久子に宛金五十圓を上野公園迄持參すべき樣の脅迫狀を送りたる一少年があつたが探偵劇毒蛇團を見たる爲め大正五年八月府下千駄ケ谷町四四三金榮堂金森外七名の少年が蝮蛇團と稱する團體を組織し各血判して喧嘩脅迫し檢擧されたるは同毒蛇團の感化を受けたるものである又大正七年七月二十六日牛込神樂坂町三の三皷妓屋金井うめ方に强盜に入り金二十八圓を强奪したる牛込原町二丁目二十四番地宮崎太郎は『奉音』を見て惡心を起した大正六年四月本郷區湯島切通し町三十杉山三太郎外數名に脅迫狀を送付して金圓を强請して檢擧された本郷湯島天神町二の八十鶴信次(二三)は『鐵の爪』を見て惡心を起した大正七年六月四谷署に檢擧された殺人犯人案は活動映畫の中橋上より

◆汽車進行 中の線路に人を突き落したる狀を見て殺意の動機を作つた其他隨分あるがそれは要するに直接間接に映畫及び活動寫眞館が犯罪の起因たる場合が少からざるを以て將來取締に就て益々留意すること』(東京)

◎羅紗は高く爲るか

休戰は濟んで英米現今の相場は從來の約二倍半

羅紗類は開戰前は内地製の外に英國よりも輸入してゐたので廉價であつたが其後戰亂の結果英國は輸出を禁じ濠洲及び南阿でも羊毛管理令を發して輸出を禁じその後以上の諸洲から一部の輸出を許さるゝに至り一息つけたが間もなく本秋以降英米各國では羅紗の需要の増加したにつれて輸出を減少し加ふるに内地品も[illegible]各地へ輸出さるゝやうになると漸次品不足を來たし同時に漸次騰貴せんとせる矢先に突然休戰となり一般物價と共に價格の騰貴せんとする餘勢を押へてゐるに過ぎない然るに休戰後濠洲に於ける羅紗の需要は頗る増加し殊に英國の如きは目下日本の時價よりは四五割の高値を示して居ても品物の供給が不能の狀態である、これは久しく戰線にあつた四千萬の除隊兵が私服用に供せらるゝ爲め海外への輸出は思ひも依らぬ狀態であるのみならず英國では經濟政策を採つて戰後でも尚ほ羊毛の管理令實行の下に海外へ高値で輸出してゐるので内地の羅紗會社も自然高價の原料を買はねばならぬのでこれが海外輸出などの結果高い羅紗を製せねばならぬ斯くて戰後と羅紗の價の比較は驚くべき差を呈し約二倍半の騰貴を示してゐる、以上の大勢から見れば戰後安くなるべく豫想された羅紗は却つて益騰貴するものと見ねばならぬ

◎漢江結氷す 厚さ尺餘に及ぶ

二十九日の最低温度は氷點下十二度八前日の最低温度より四度八許り低くこの數日にない寒さを感じたが鷺梁津からの通信に依ると漢江は二十八日夜來の寒氣の爲め尺餘の厚さに結氷しスケートを試みて居る連中も大分見受けられた相なが是からはスケートの天下例に依つて江上は非常に賑ふであらう

◎線香代 値上許可さる

京城三券番では既報の通り從來一時間九十錢の線香代を一圓二十錢に値上すべく予て其筋に出願中であつたが右は愈々二十九日附を以て許可になつた券番では明けて目出度い正月元旦から新線香代を申し受けるとの事

◎金融繁忙絶頂 兌換十億に近し

[illegible]二十六日の東京市中金融は前日に[illegible]前月より五毛方引締れり但し交換後に至り稍資金緩れる兆候[illegible]翌日拂は一錢八厘五毛乃至一[illegible]
[illegible]千二百八十三萬圓の増加兌換券發行高に千九百三十一萬圓の増加[illegible]外發行に千九百三十二萬圓の増加[illegible]れ亦五億圓に近き限外發行は一億五千六百八十六萬圓となれり(東京)

[illegible]……も幸ひに乘客に負傷なかりしと

◎柔道稽古納

講道館朝鮮支部に於ては二十八日午後一時より柔道稽古納めとして數十組の紅白勝負を行ひ右終りて時任義夫氏の薩摩琵琶『乃木將軍』の彈奏ありたり

◎怨みの放火か

咸北中山郡面上里沈昌濟方雇人趙龍成(二三)は去る十一月二十日午前二時頃同里徐斗火方の居宅に放火する爲め主人宅より燕麥稈一把を持ち來り同居歐塡埋突の板張りに放火し同家屋一棟及び居家釜一個を燒失したるが原因は未だ判明せざるも何かの怨恨なるべく犯人は本月十七日雇主宅に於て逮捕されたり

◎牛を曳いて逃亡

咸南三水郡三西面三德里生れ李謂成(三三)は昨年より甲山郡雲興面鐘項里に於て代木に從事中去る九月十八日午前十一時頃鄰里に赴くと稱し同里居住許河龍所有の鮮牛一頭を借受け之を曳きたる儘行衛を晦ましたるに依り目下搜索中なり

◎畫家片山氏

京城の新進洋畫家片山要太郎氏は二十八日北漢井に轉居せり

『縁起棚』

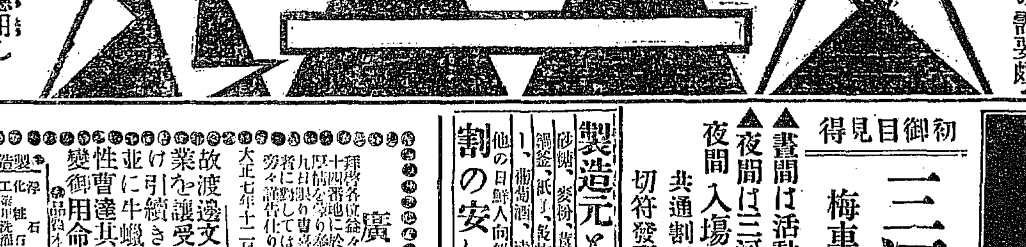
▲仁川の某鮮人が家に落籍されてゐたトド鮮妓の身がなつたわけかお暇になつて二十八日から京城粹界に逆り咲いた▲田みを偲んだその昼りのハドの明けるのは結構だが客人く以前から見ると大分痩せてゐる『アテもう一度御機嫌ひ……』など云ひて泣いてゐるさうだ▲落籍されると云へば一時花月で鳴らした一奴も長い川町のなにがし氏に身引きされあの邊に居る▲頭は大きな腹を抱へてよく湯に行つたりしてゐるが、出て居た時から見ると色も氣も餘程失せてゐるその事▲も手入れが疎かになり急に落ちる▲[illegible]

故鈴木校長吊慰及奬學資金寄贈者名

第二十二回の續き

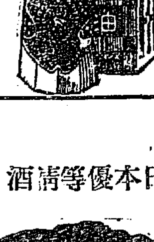
金五拾錢 水谷一政
金五拾錢 桑原豐
金壹圓 岡部貴信
金參圓 大内要
金五十錢 渡邊十次郎
金參拾錢 田中藤太郎
金參十錢 山口榮治
金壹圓宛 岩淵幸三郎 佐藤立三 吉松幸次
金五拾錢 橋本清太郎
金壹圓 岩森守平
金五拾錢 大原嘉三
金壹圓 栗本正隆
金壹圓 富田重平
金九拾錢 橋本三良
金五十錢 林原寛貞
金一圓 松藤重臣
金參拾錢 若林庸夫
金五拾錢 小林健次
金五十錢 平野嘉吉
金壹圓 山崎重雄
金五十錢 杉本庄次郎
金五十錢 石原昊
金壹圓 菲野伊四郎
金九十錢 小倉定雄
金五十錢 木下孫一
金壹圓 林三太郎
金參十錢 甲斐大九郎
金四十錢 木山鷹象
金參十錢 佐伯總次郎
金壹圓 北浦太郎
金壹圓 松本富太郎
金壹圓 廣瀬平八朗
金五十錢 長尾汎
金壹圓 松山潤藏
金五圓 滿鐵京城管理局經理課
金參圓 龍山倉庫有志
金五圓 安藤又三郎
金貳圓 佐藤三郎
金壹圓宛 岩崎廣太郎 廚川正 桂筆三
金五拾錢 杉浦熊男
金壹圓 新井直明
金壹圓 新井高子
金五拾錢 河村秀雄
金壹圓 忽那秀秋
金五十錢宛 鈴木正三 猿阪晉 岩藤石金 永井邦平 平田耕二 大山象吉 伊藤匠 中山理美 平田稔 長谷川衛 松岡府也
金壹圓 伊藤英之進
金五十錢 岩野清二
金五拾錢宛 笠間光凱 兩見篤 宮川寅彦
金參拾錢 山縣延
金五拾錢 岡本立己
金貳十錢 有田須治
金二十錢 大村二一
金五拾錢 小林學
金壹圓 陳晟烈
金貳十錢 小平重徳
金參圓 黒澤明九郎
金壹圓 湯口保虎
金五十錢 河内耕作
金五十錢 松枝英三郎
金壹圓 白砂喜三郎
金參拾錢 三木午十
金五拾錢 佐藤信一
金五十錢 高橋爲雄
金參拾五錢 橋本文平
金貳拾五錢 加藤仁
金貳十錢 竹田陽一郎
金二十錢 宮川隣
金貳十五錢 坂本末松
金三十錢 増永讓三
金參拾錢 松木熊吉
金壹圓 福見貞治
金五拾錢 吉野信務
金壹圓 宮原秀輔
金參拾錢 加賀美仟一
金拾錢 松枝英一
金貳十錢 龜川久隆
金拾錢 佐藤喜市
金拾錢 清水清平
金五十錢 石川義信
金壹圓 吉原巳之吉
金五拾錢 庄司振吉
金壹圓 青木三[illegible]
金貳十錢 山田鐵市
金拾錢 谷本雅之

(以下次號)



毛髪の營養に富み日本に冠たる……世界的パール煉香油として内外の需要頗る旺盛なり

化粧化學を應用し絶對的黑色養毛に適ふ實に遺感なき……現代理想の椿香油なり



本舗 東京 平尾パール　代理店 大阪 平尾レート

日本優等清酒

攝津灘 花木本家釀造

特約販賣京城 島屋本店販賣部 電話九〇三番二三〇番

フクムスメ

廣告

拜啓各位益々御清榮奉賀候陳者私前代より京城岡崎町十四番地に於て朝日石鹼製造所を經營致居候處格別の御厚情を蒙り奉深謝候然る處今般都合に依り去る十二月十九日限り曹喜曤氏に全部讓り渡し候間御諒承被下向後同者に對しては從來同樣に御引立の榮を賜はり度右御挨拶旁々謹告仕り候

大正七年十二月二十五日　京城府旭町二丁目三十番地　渡邊光子

故渡邊文治氏の經營に係る石鹼製造事業を讓受け引續き各種石鹼製造並に牛蠟(石鹼用機械用)洗濯曹達其他の原料販賣可仕候間不相變御用命之程偏に奉懇願候敬具

製造科目　浮石鹼　化粧石鹼　工業用石鹼　家庭用洗濯石鹼　粉石鹼　洗濯曹達

品質本位　價格低廉　取引誠實

京城岡崎町十四番地電話一五六四番　朝日石鹼工場　曹喜曤

製造元とのやくそくで

砂糖、麥粉、貨、金巾、燐寸、石油、洋蠟、鍋釜、紙子、乾物、罐詰、ビール、サイダー、葡萄酒、清酒、醤油、染粉、足袋其他の日鮮人向雜貨食料品

割の安い品そろいの

大おろし店　仁川本町　河野本店　電話[illegible]

初御目見得

三河屋圓車

梅車、右圓車、圓蝶、小圓丸

眞打揃大一座

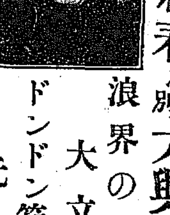
▲晝間は活動寫眞(正午十二時より)入場料金普通

▲夜間は三河屋圓車一行開演(正午後五時より)

夜間入場料 特等壹圓、一等七十錢、二等五十錢、三等三十錢

共通割引　切符發賣

黄金館



▲新春之特別大興行

浪界の大立物　ドンドン節の元祖

鞄……は……

□東京製トランク各種
□專賣柳行李鞄一手販賣
□毛布及膝掛各種
□國旗及附屬品一切
□魔法瓶及中瓶取替

京城本町壹丁目　高木旅行用具店　電話二五四番

母と子 (六十七)

北島春石作　森田久畫

いらだつ心(二)

未だ除懐去りやらぬ雅巳は、その一言を無意味には聞き遁さなかつた。

『お葉!』と鋭く呼びかけ『お前は今何を言つたのだ。』

『いゝえ、別に。』

『いや、胤は一つでも腹が異へば何うとか……もう一度言ひ直して見ろ。』

『おや、あの愚痴がお耳に入つたんですの。』

『馬鹿にするな!俺は聾ぢやないんだぞ。』

『ぢや、二疲が三度でも言ひ直しますがね。』

と、お葉は厭味たつぷり『先妻の志保子さんは立派に敗ゞがあつて決して良夫の顔へ泥をぬるやうなこともなさらず……そのお腹から生れた幸枝は、今ぢやもう佐久間をお父さんと呼ぶやうになつてるさうですがね　何うせ、藝者あがりの子と生れた不愍さ、篤の馬鹿には手がつけられないし、親となればつい餘計な愚痴も出ますのさ。』

『ます〳〵妙な事を……』と雅巳は不快満々の體『今お前は佐久間を何うとか言つたな。』

『ね、確かにさう申しましたとも。』

『幸枝が佐久間を父と呼んで居るとか……すると志保子と秘密な關係でも結むだといふのか。』

『まあ!』と、お葉は却つて呆れたやうに未だ何にも御存知ないんですか。』

『知らん!俺は少しも知らん。』と、何をゆすつて『近頃、會社の仕事が多忙を極めて、幸枝のこともあの儘で打捨てゝ居る始末だ。』

『ぢや、わたしの聞込んだ丈けをお打明けいたしませうか。』

『うむ、聞かせてくれ。』

『でも、そんな事がお耳に入つたら、薔更好いお氣持はなさらないでせうからね。』

『いや、何でもいゝから話してくれ。』

『ほんとに。』あとでわたしをお怨みなすつちや嫌ですよ。』

『うむ……』

『實はもう先月のことですがね、わたしや妙な噂を聞込みましたよ。』

こゝぞと思つて喉をすゝめたお葉は、良人の顔色を上目遣ひにちろ〳〵。

『ほら、貫郎だつてお忘れなさらないでせうが、未だ烏森で左褄をとつてた時分、鯉香といふ七三の妓がゐたでせう。』

『鯉香ならよく呼んだ覺ねがあるが、それが志保子や佐久間に關係でもあるのか。』

『だから、廣いやうで狹い世の中でもあるのか。』わたしも綺麗に落籍祝ひをしてから、なりたけ昔の友達にも逢はないやうにと、その後はたゞの一度も尋ねませんでしたがね。この間、春衣の仕度をと三越へ行くと、久し振りでバツタリ出逢つたんですよ。』

そんな餘談は所うでもいゝと言はぬばかり、雅巳は氣をいらくさせながら、

『鯉香に逢はうと逢ふまいと俺の知つた事ぢやない!早くその先を聞かせてくれ。』

『貫郎も短兵急ね。』と、お葉は底意地悪く密著を揶つて『今度のことには、あの鯉香さんも大分深い因縁が絡んでゐますもの。』

『ぢや、その鯉香が何うしたんだ。』

『あらまあと言ふやうな事から、二人で食堂へ入つて一口始めながら、その後は何うなすつたの?と聞いて見ると、もう五六年も前に烏森から芳町へ住替へて、ためになる旦那がついたので、蔦永樂と云ふ看板を分けて貰ひ、今ぢや抱へ妓も三四人はおくやうに……ね、貫郎はその旦那を誰だと思ひなすつて?』

『まるで解らん。』

『でも、よく御存知の人ですよ。』

『………』

『ねえ、何うしてもお解りないなら打あけますが、それが中洲の高橋さんなんですよ。』

○初春の花

お正月の氣分に適しい西洋花

お正月は花の少い時です、室咲きの白梅とか福壽草とかは定りきつたお目出度づくしの床飾りの一つですけれど、その他にもつと

△賑やかな　お正月氣分にふさはしいものをたづねて見ますと、まづペコニヤ、ゼラニユーム、シブリペテイアム、プリムラシネンシスなどの華やかに床しい西洋花の類でせう、ペコニヤは十二月から二月頃へかけて淡紅色のそれは〳〵華やかな日本の秋海棠のやうな可憐らしい花を咲かせます、なよ〳〵した一つの莖に幾百の花をパツと咲かせるのですから、淋しい冬枯れの目には又なく艶麗に見ゆるのです、ゼラニユームは、純白、紅、淡紅、淡黄など種類が澤山ありますが

△冬は何う　しても淡紅か紅色のが室を明るくしてよいでせう、シブリペテイアムは日本の熊ケ谷草に似た紫色の極上品な花瓣は袋のやうになつて上靴の格好をしてゐますから、西洋で：レデースリツパとも云ひます、花の保ち方が大變に長いので、冬期には此上もない飾り花です、プリムラシネンシスは櫻草とも云ひ春咲く櫻草の一種で、優しい美しい花です、此等は皆鉢植ゑのまゝ床の間へ飾つておいても宜しいし

△切り花に　して姿面白く無造作に花瓶に投げ込んでおいてもなか〳〵綺麗です、切り花にする時切り口を一寸鹽で揉むか燒いておくかすると、花の保ちが大變よろしいです

◈髪油の善惡

＝燃やして見れば判る

毛髪に用ひます油脂は一番椿油がサラリとして宜しうございます、此椿油にも搾り取り方に冷壓法と蒸壓法とあり又一番搾りと二番搾りとありまして其品質が違つて參ります、冷壓法で搾り取つた油は色もあつさりした

◇黄色て　香が殆んどないと云つてよい程少く味もよろしうございますが蒸壓法で一番搾り二番搾りを混ぜたもので精上げたのは酸の量が殖ねて悪臭で舐めて見ますれば苦味があります、斯様な油は椿油でも毛髪皮膚の爲には餘りよいと云ふことは出來ません、其他オリーブ油菜種胡麻ヒマシ油等も毛髪油として衛生上からは悪くありませぬが

◇臭が面白　くなかつたり粘りが強過ぎたりして御婦人方に適しない、とりわけ鑛物油、假へばスピンドルとか流動パラピンとかパラピン蝋とかを混入した油脂は是等の中に含んでゐる遊離酸の爲に毛質を傷つけ皮膚を刺戟して毛が途中から切れたり、又は濕疹が出たりしますから御婦人方の毛髪には至つてよくないと思ひます、而して此油脂を見分けるには一本の紙撚の先に油脂をつけて火を點じて見ますれば植物油脂ばかりならば烟はおこらなしく

◇油煙が出　ませぬが鑛物油脂を混ぜて居るものは烟はさらさらと盛んに又多くの油煙が出ます、又鑛物油を混入せるものは光りにあて、見ますれば螢火を認めることが出來ます、又びん附梳き油の中に鑛物油を加へたるもの、見別け方は以上の點火法によるのと今一つは鑛物脂を加へたものは日數を經ますればざく〳〵になります

○經濟戰の先驅

▲休戰成立し　追々平時状態に復せんとして以來早くも各[illegible]するを看るや第一番に戰前同方面に就航しつゝありたる船舶を解放し以て既に十二月中本國を出帆し[illegible]海運界は勿論戰後の貿易政策上に於ても英國を敵として戰ふの覺悟をなし居れりこの事ありたるが殊に[illegible]即ち戰後の貿易戰は一つに此の運賃率の如何に因り決せらる、ものなれば先づ此の點に於て英國に[illegible]れたるを以て其時には大いに注目に値する處なるが其結果として世界運賃市場は漸次下落の傾向を[illegible]し[illegible]追々影響を及[illegible]施に就き岡本商工[illegible]の代用に就ては今回米調問題惹起以來其實行の可否は朝野に於て論議されたが當局に於ては[illegible]ありと信じ今回愈々實施することなりたる次第なるが之れが實行[illegible]明年度新市四月限りよりこせるは[illegible]つて外米鮮米共受け渡し代用に供せらる、次第なり(東京)

○米の代用に

干し饂飩を　東京で廉價

東京神田區北神保町關戸製麺業組合は補助食品として乾うどんの普及を圖る爲廿六日東京市に於て

◎試食會を　開いたが田尻市長は先づ箸をとつて醉味をやり『やア是りや結構ぢや』一つがな八錢とは馬鹿に安い如何かね是から大麥粉を入れてさうして以て國策を圖る事にしちやア』と頗る御機嫌だ其他高級市吏員連中も盛んに舌鼓を打ち大に家庭に奬勵せん事を申合せたが其庭長は云ふ迄もなく米食と異り副食物を要せず

▲調理簡便　にして價格は普通食料の三分の一で足りるから一食毎日五錢宛を節約すれば一箇月一圓五十錢位に於て米六升を節約し市民三百萬人が一箇月十八萬石一箇年二百十六萬石の米を節約する事が出來ると商同組合では東京市と氣脈を通じ市内各所に饂飩試食所を設け廉賣を行ふ由だ

新刊紹介(到着順)

▲ホトトギス(新年號)　第廿二卷の第四號　新年號二百六十九頁の新春號である[illegible]

▲みづゑ(每月研究[illegible])　水彩畫專門の雜誌口繪原色版に[illegible]氏の田口の雪、寛巳氏の會津の雪、柏亭氏の城外雲、其他挿繪として雪に關するもの十數枚を載せ、山里恒ケ省楓、柏亭、晚霞、鼎其他諸畫伯の記事と雪に對しての研究感想を述べたるものなり裳葉柏亭氏の朝鮮女の氣のきいたる心地よし(定價四十錢、東京小石川區井町三春島館)

後者の領分

[illegible]

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials after thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated.

Price ¥ 1.70

滋養強壯料

芳香醇良なる本邦産天然葡萄酒を基礎とし完全なる吸收性及同化性を併有せしめたる

○ミツワ規那鐵葡萄酒

香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絶

定價 一壜 金壹圓七拾錢（内地以外は關稅實費を加ふ）

本品は山梨縣葡萄酒醸造所醸製の天然葡萄酒を基礎とし、純良有効なる規那並に鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に、容易に變敗する憂ひなく、規那、鐵及葡萄酒の健胃、補血、興奮、強壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香、美味を具へ、食慾缺乏、榮養不良、慢性の發熱並に下痢、貧血、萎黄病、貧血より起る神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、産後並に病後の衰弱、一般の虚弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり。

▼如斯人は強壯料◎ミツワ規那鐵葡萄酒を適用ふべし▲

一、食餌の進まない病人
一、榮養の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血して居る病人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱く腸胃に罹り易い人
一、産前産後の養生を圖りたい人
一、病後の衰弱を早く回復したい人
一、色青く肉痩せ活潑ならぬ人
一、胃腸の弱い人
一、腺病質即ち虚弱に陥つて居る人
一、頸細長く頬瘦け咳嗽や痰の人並よりも多く出る所謂結核質の人
一、肺結核の初期、肋膜炎、肺尖加答兒、其の他結核性の病などに永く苦しんで居る人
一、右の如き病で發熱の永く續いて居る人
一、下痢の永く續いて居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に侵されて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心氣病に罹されて居る人

東京市日本橋區橋町四丁目　丸見屋商店　電話浪花特長三〇〇四・一四五〇・三〇〇〇・八四四番　振替東京七一〇番

MITSUWA GINSENG WINE.

Mitsuwa Ginseng Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and strength is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous bebility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria.

Price ¥ 1.80

模範強壯料

最近科學的研究を經て卓効を認められたる人參を特殊の操作に依り芳醇無比の葡萄酒に配合したる

○ミツワ人參葡萄酒

風味高潔芳和滋養豐富
元氣増進興奮作用優秀

定價 一壜 金壹圓八拾錢（内地以外は關稅實費を加ふ）

本品は科學的研究を經て、効力卓絶なる人參を、周密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして、其の色は鮮紅にして鮮麗、其の香は芳芬にして清爽、其の味は濃厚にして甘美、能く何人の嗜好にも順應し、元氣を増進せしめ、榮養の佳良並に身體の強壯を圖し、精神の困憊、筋骨の疲勞を除き、常に健者に新活力を賦與するに於いて他の物を以て代ふべからざる効果あり、本品は隨時隨意飲用すべく、一度滴下したる水或は諸種の清涼飲料を以て稀釋するも可なり。

▼如斯人は強壯料◎ミツワ人參葡萄酒を用ふべし▲

一、元氣を盛んにしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、體力を旺盛にしたい人
一、身體を強壯にしたい人
一、元氣良く活潑にしたい人
一、延年長壽を願ふ人
一、常に[illegible]の忘れた人
一、精神が減り元氣の無い人
一、精神又は勞働して疲れた人
一、生來虚弱な人
一、身體を過勞して居る人
一、[illegible]して居る人
一、顔の色青褪め元氣の無い人
一、手足や腰腹が冷えて腰つかれる人
一、些細の事まで氣にかける人
一、悲しい事も無いに泣きたい人
一、悲觀して厭世的になる人

東京市日本橋區橋町四丁目　丸見屋商店　電話浪花特長三〇〇四・一四五〇・三〇〇〇・八四四番　振替東京七一〇番

最上清酢　日本一　マルカン印

ほまれ味噌

最上醬油　日本醬油株式會社　京城出張所　電話二四五番

大阪北詰角　大三休橋　百圓進呈　大阪有田ドラッグ商會

りん病　ばいどく　特効　請合

帝國醫科大學病院　分析料百圓進呈

にせ物　大阪有田　東京大阪各地ににせドラッグあり　取お札

大阪有田ドラッグ商會滿鮮本部　京城南大門外停車場通　京城黄金町三丁目(全支店)　龍山漢江通(全支店)　釜山大廳町二丁目(全支店)　元山本町三丁目(全支店)　平壌櫻町十二番地(全支店)　仁川宮町二丁目(全支店)

朝鮮のにせ物　京城、龍山、仁川等各地ににせドラッグあり瞞着せられざる様御注意を乞ふ

請合薬特許　其他薬店販賣不許　全國到る所の都市朝鮮滿洲南清台灣等に支店あり

京城龍山等各地に偽物有　御注意

大阪日本橋筋　有田ドラッグ

互光商會汽船出帆廣告
第三琴平丸　元山西湖、城津、清津行　十二月廿三日元山出帆
第三琴平丸　門司、宇品、神戸、大阪行　十二月廿五日元山出帆
釜山　大池回漕部　電話一二二

尼崎汽船　仁川出帆
下關大阪直行　君が代丸　十二月　日後四時出帆
大有丸　十二月　日後四時出帆
神山木浦二下ノ關大阪行　代丸　十一月　日後四時出帆
仁川海岸通三丁目(電話五九番)　高杉回漕部